

令和3年度第3回 インターネット都政モニターアンケート

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の
開催について」

調査結果



調査実施の概要

1 アンケートテーマ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催について

2 アンケート目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、史上初めて延期・無観客での開催となった東京2020大会について都の取組や大会に対する都民の意見等を把握し、大会の検証や今後の開催都市への継承、スポーツ及び文化振興施策等の推進に活用していく。

3 アンケート期間

令和3年10月22日（金曜日）から10月28日（木曜日）まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。

5 インターネット都政モニター数

500人

6 回答者数

490人

7 回答率

98.0%

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催について

1 調査項目

- Q 1 東京 2020 大会の開催について
- Q 2 開催がよかったと思う理由
- Q 3 開催がよくなかったと思う理由
- Q 4 無観客開催の妥当性
- Q 5 無観客開催で思ったこと
- Q 6 観戦・視聴の有無
- Q 7 観戦・視聴の方法
- Q 8 有観客開催であった場合の観戦・視聴の方法
- Q 9 観戦・視聴したオリンピック競技
- Q 10 観戦・視聴したパラリンピック競技
- Q 11 新たに興味を持ったオリンピック競技
- Q 12 新たに興味を持ったパラリンピック競技
- Q 13 新型コロナウイルス感染症対策について
- Q 14 今後のスポーツイベントや大会の実施について
- Q 15 大会期間中の行動変化
- Q 16 ボランティアへの興味
- Q 17 被災地復興への取組
- Q 18 聖火リレーの観覧・視聴の方法
- Q 19 オリンピック・パラリンピックが文化の祭典でもあることの認知度
- Q 20 文化体験への参加意向
- Q 21 文化体験で興味のある分野
- Q 22 東京 2020 大会後のレガシーを見据えた東京都の取組
- Q 23 大会後に発展させてほしい取組
- Q 24 東京 2020 大会の開催全般への意見

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	490	-	98.0
性 別	男性	250	245	50.0	98.0
	女性	250	245	50.0	98.0
年 代 別	18・19歳	10	10	2.0	100.0
	20代	61	57	11.6	93.4
	30代	86	82	16.7	95.3
	40代	94	94	19.2	100.0
	50代	83	82	16.7	98.8
	60代	59	59	12.0	100.0
	70歳以上	107	106	21.6	99.1
職 業 別	自営業	42	42	8.6	100.0
	常勤	200	194	39.6	97.0
	パート・アルバイト	66	66	13.5	100.0
	主婦・主夫	86	85	17.3	98.8
	学生	28	27	5.5	96.4
	無職	78	76	15.5	97.4
居住地域別	東京都区部	344	337	68.8	98.0
	東京都市町村部	156	153	31.2	98.1

- ※ 集計結果は百分率 (%) で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、合計が 100.0%にならないものがある。
- ※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- ※ 複数回答方法・・・(MA) =いくつでも選択、(3MA) =3 つまで選択、(2MA) =2 つまで選択

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会）」は、令和 3 年 7 月 23 日（金）のオリンピック開会式から約 1 か月に渡り開催され、9 月 5 日（日）のパラリンピック閉会式をもって終了しました。

今回のアンケート調査では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、史上初めて延期・無観客での開催となった東京 2020 大会について都の取組や大会に対する都民の意見等を把握し、大会の検証や今後の開催都市への継承、今後のスポーツ及び文化振興施策等の推進に活用していくため、都政モニターの皆さまにご意見を伺います。

【東京 2020 大会の概要】

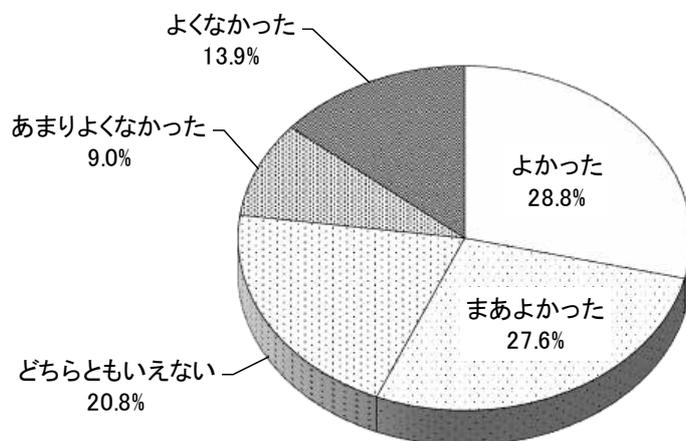
■オリンピック	
会 期	令和3年7月23日（金）～ 8月8日（日）【17日間】
競 技 数	33競技（追加競技：「野球・ソフトボール」「空手」「スケートボード」「スポーツクライミング」「サーフィン」）
会 場 数	42会場（都内24会場、都外18会場）
参 加 国 等	205の国・地域及び難民選手団
参 加 人 数	選手 11,259人（うち日本選手団583人） ※女性選手の割合 約42%
日本のメダル数	（金）27個（銀）14個（銅）17個 ※史上最多58個のメダル（次点は、2016年リオデジャネイロ大会の41個）
観 客	<無観客> 東京・埼玉・千葉・神奈川・北海道・福島 <有観客> 宮城・静岡・茨城（観客は43,300人） ※茨城の観客は学校連携観戦事業対象者のみ

■パラリンピック	
会 期	令和3年8月24日（火）～ 9月5日（日）【13日間】
競 技 数	22競技（新競技：「バドミントン」「テコンドー」）
会 場 数	21会場（都内15会場、都外6会場）
参 加 国 等	162の国・地域及び難民選手団
参 加 人 数	選手 4,405人（うち日本選手団254人） ※女性選手の割合 約42%
日本のメダル数	（金）13個（銀）15個（銅）23個 ※歴代2位の51個のメダル（最多は、2004年アテネ大会の52個）
観 客	<無観客> ※東京・埼玉・千葉では学校連携観戦を実施 （都内は参加10,543人）

東京 2020 大会の開催について

Q 1 あなたは、東京 2020 大会が開催されてどう思いますか。次の中から、1 つ選んでください。

(n = 490)

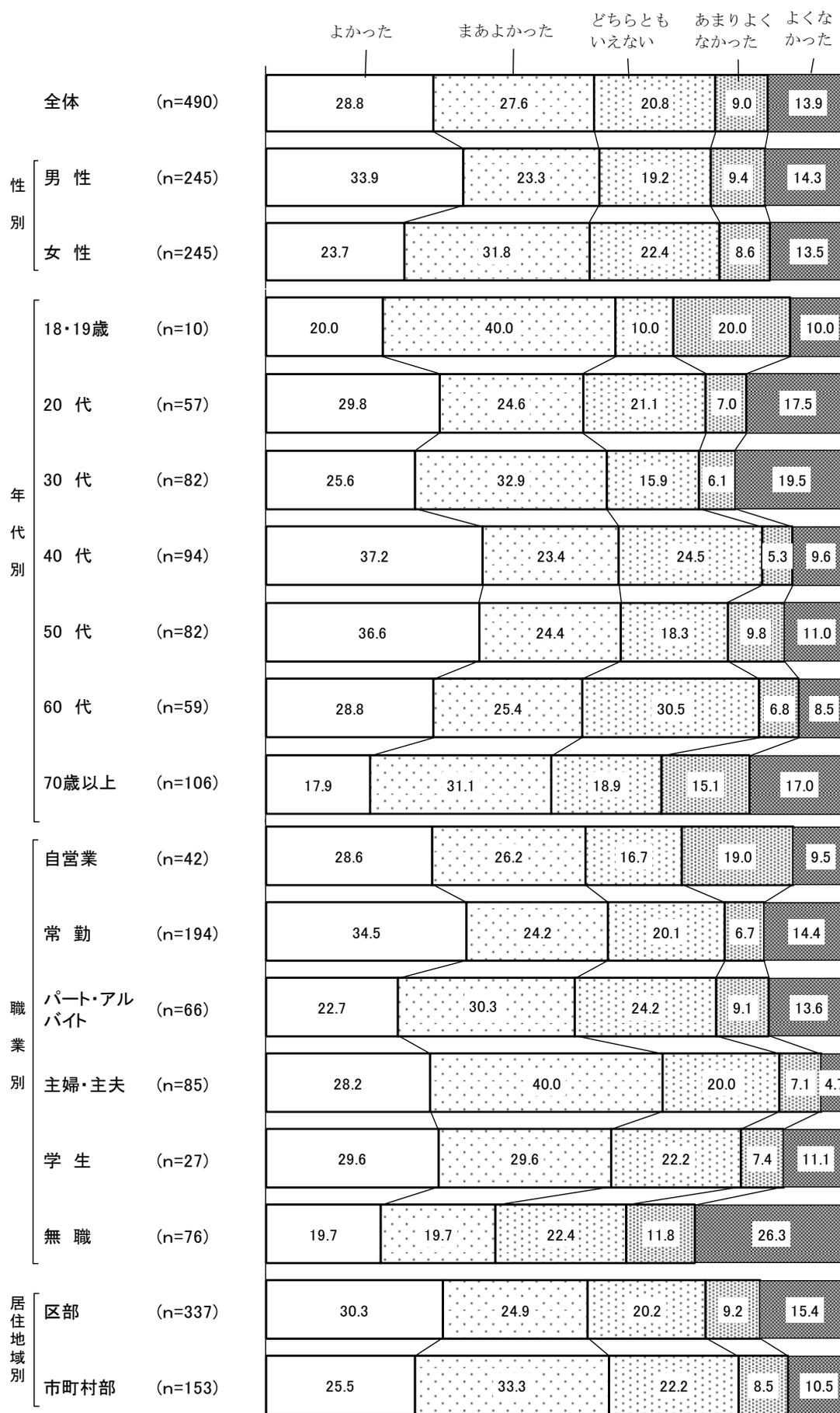


【調査結果の概要】

東京 2020 大会が開催されてどう思うか聞いたところ、『よかった』(56.4%) (「よかった」(28.8%)、「まあよかった」(27.6%)) が 5 割半ばで、『よくなかった』(22.9%) (「あまりよくなかった」(9.0%)、「よくなかった」(13.9%)) は 2 割超であった。

なお、「どちらともいえない」(20.8%) は、2 割超であった。

◎東京 2020 大会の開催について（属性別）

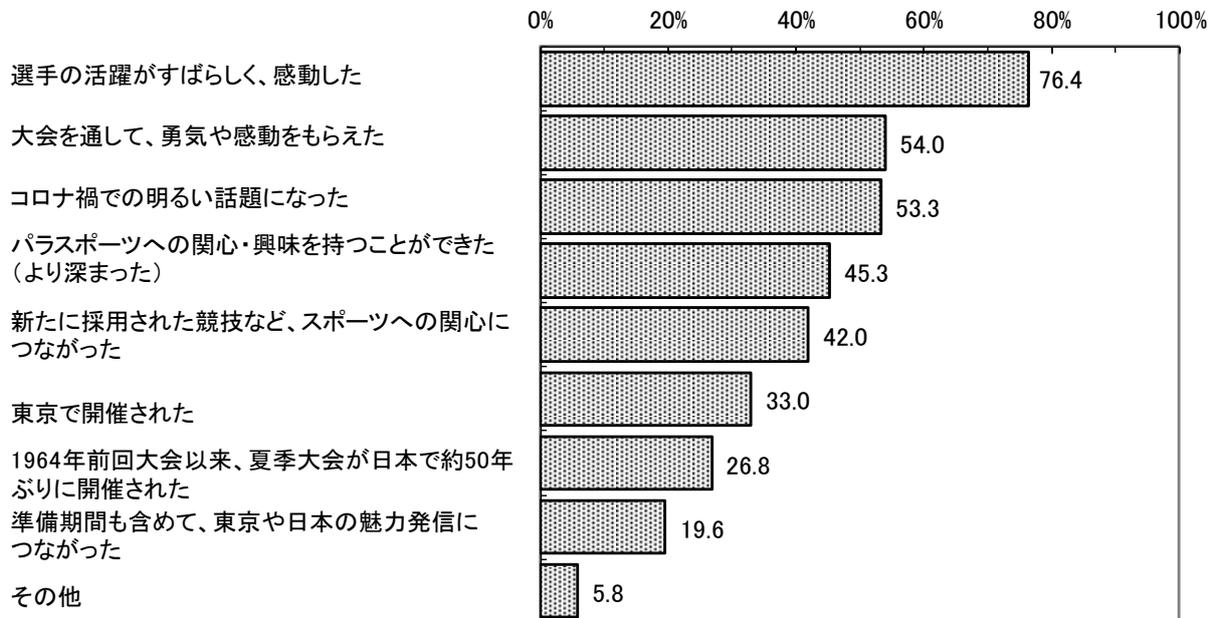


開催がよかったと思う理由

Q2 Q1で「よかった」、「まあよかった」を選んだ方に伺います。

あなたが、そのように思う理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=276)



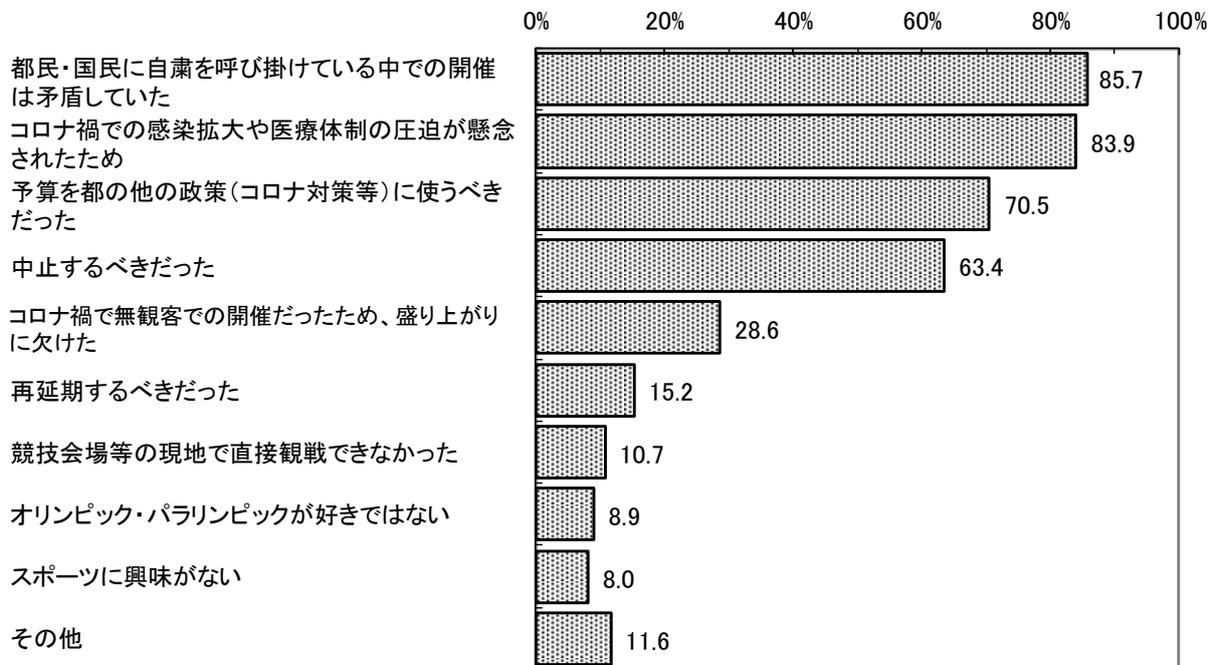
【調査結果の概要】

Q1で「よかった」、「まあよかった」を選択した方に、東京2020大会開催がよかったと思う理由を聞いたところ、「選手の活躍がすばらしく、感動した」(76.4%)が7割半ばで最も高く、以下、「大会を通して、勇気や感動をもらった」(54.0%)、「コロナ禍での明るい話題になった」(53.3%)などと続いている。

開催がよくなかったと思う理由

Q3 Q1で「あまりよくなかった」、「よくなかった」を選んだ方に伺います。
あなたが、そのように思う理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=112)



【調査結果の概要】

Q1で「あまりよくなかった」、「よくなかった」を選択した方に、東京2020大会開催がよくなかったと思う理由を聞いたところ、「都民・国民に自粛を呼び掛けている中での開催は矛盾していた」(85.7%)が8割半ばで最も高く、以下、「コロナ禍での感染拡大や医療体制の圧迫が懸念されたため」(83.9%)、「予算を都の他の政策(コロナ対策等)に使うべきだった」(70.5%)などと続いている。

◎ その他の主な意見

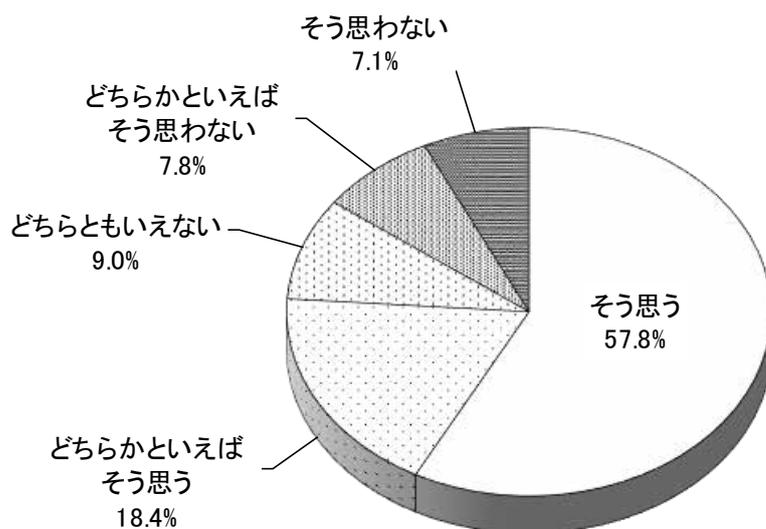
- ・ 開催費用が掛かり過ぎた

無観客開催の妥当性

Q 4 東京 2020 大会は、オリンピック・パラリンピックともに、新型コロナウイルス感染状況と緊急事態宣言の発出等を受け、人流を抑制するとともに、感染拡大の防止等に向けたより厳しい措置として、一部の競技会場を除いて無観客での開催となりました。

あなたは、無観客という判断は妥当だったと思いますか。

(n = 490)



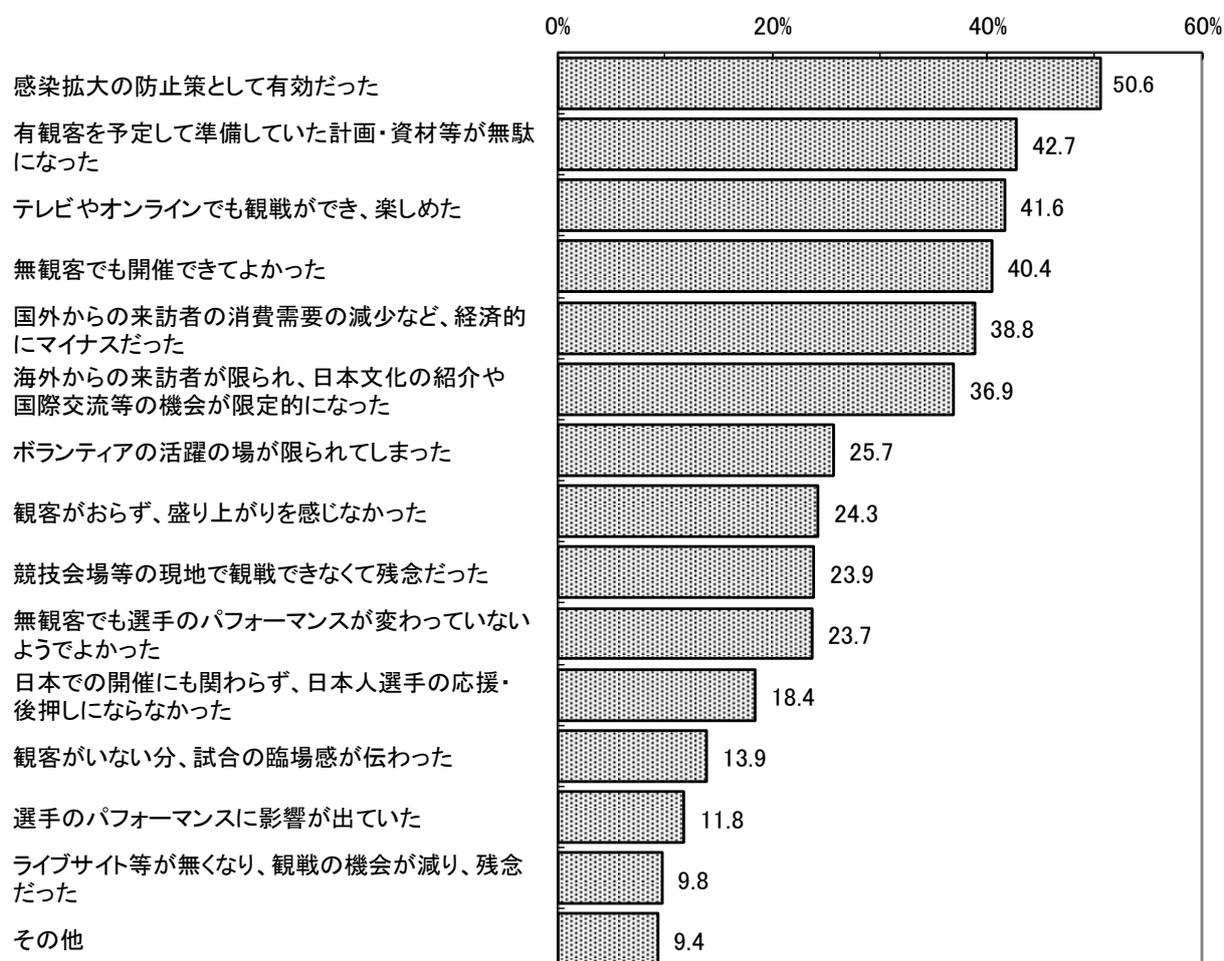
【調査結果の概要】

一部の競技会場を除いて無観客での開催とした判断について妥当だったと思うか聞いたところ、『そう思う』(76.2%) (「そう思う」(57.8%)、「どちらかといえばそう思う」(18.4%)) が7割半ばで、『そう思わない』(14.9%) (「どちらかといえばそう思わない」(7.8%)、「そう思わない」(7.1%)) は1割半ばであった。

無観客開催で思ったこと

Q 5 ほぼ無観客での開催となった東京 2020 大会ですが、それによる影響について、あなたが思ったことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=490)



※ ライブサイト：競技会場外で実施されるパブリックビューイング・競技体験・スポンサーの出展等

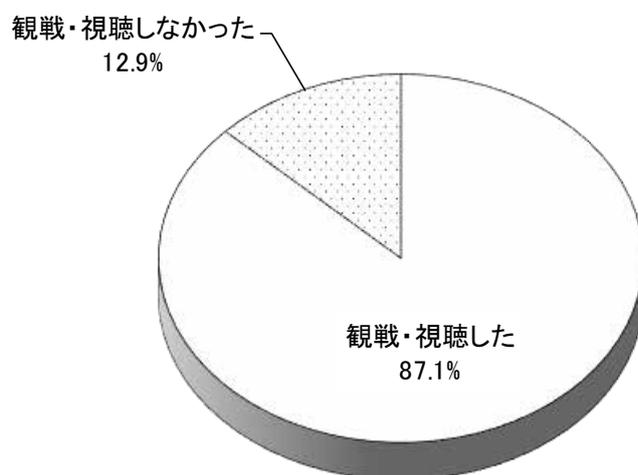
【調査結果の概要】

無観客開催による影響について思ったことを聞いたところ、「感染拡大の防止策として有効だった」(50.6%)が約5割で最も高く、以下、「有観客を予定して準備していた計画・資材等が無駄になった」(42.7%)、「テレビやオンラインでも観戦ができ、楽しめた」(41.6%)などと続いている。

観戦・視聴の有無

- Q 6 あなたは、大会期間中、東京 2020 大会を観戦・視聴しましたか。
※視聴には、生中継、録画中継やニュース映像等でのダイジェストなどを含みます。

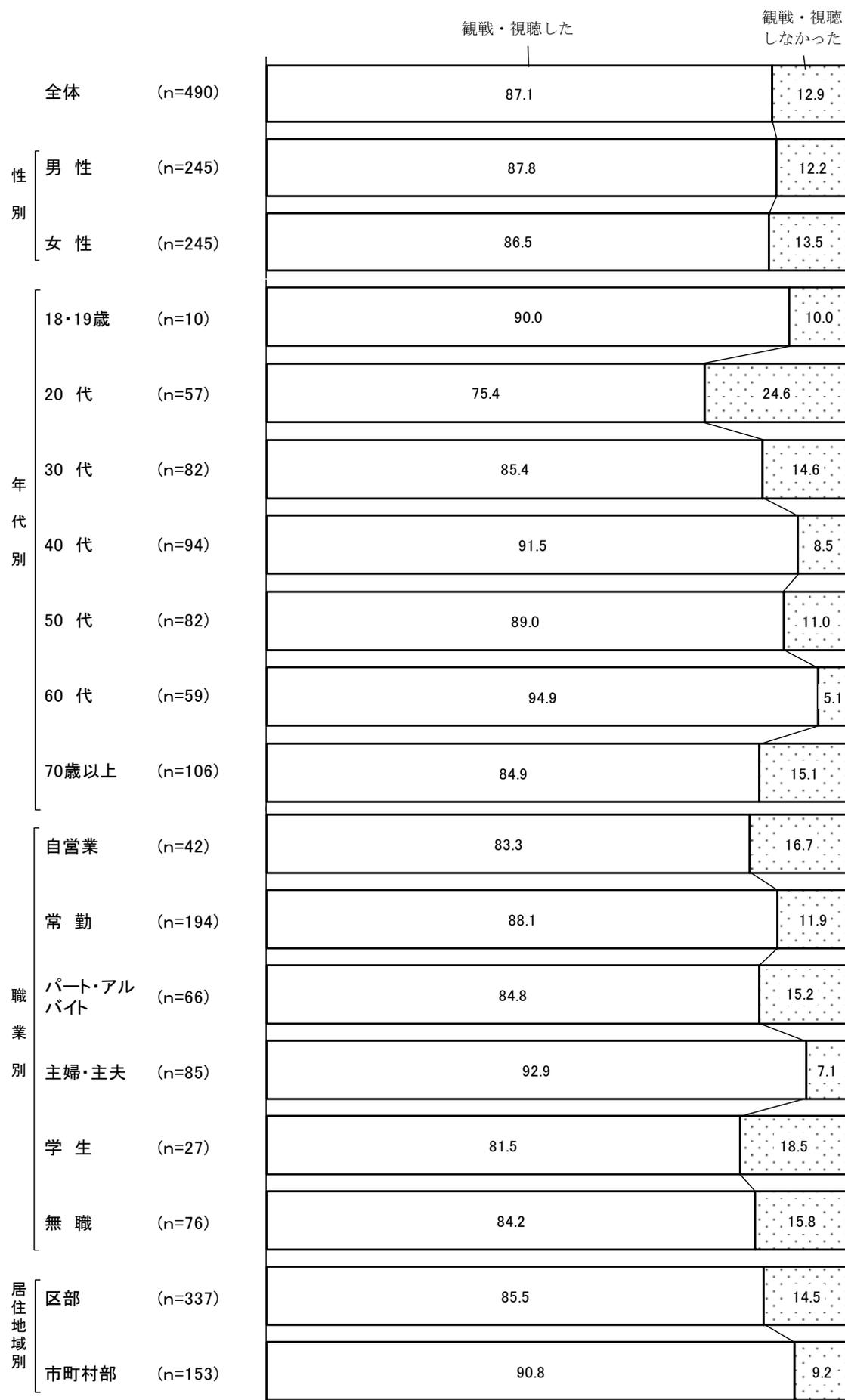
(n = 490)



【調査結果の概要】

東京 2020 大会の観戦・視聴について聞いたところ、「観戦・視聴した」(87.1%) が 9 割近くで、「観戦・視聴しなかった」(12.9%) は 1 割超であった。

◎観戦・視聴の有無（属性別）

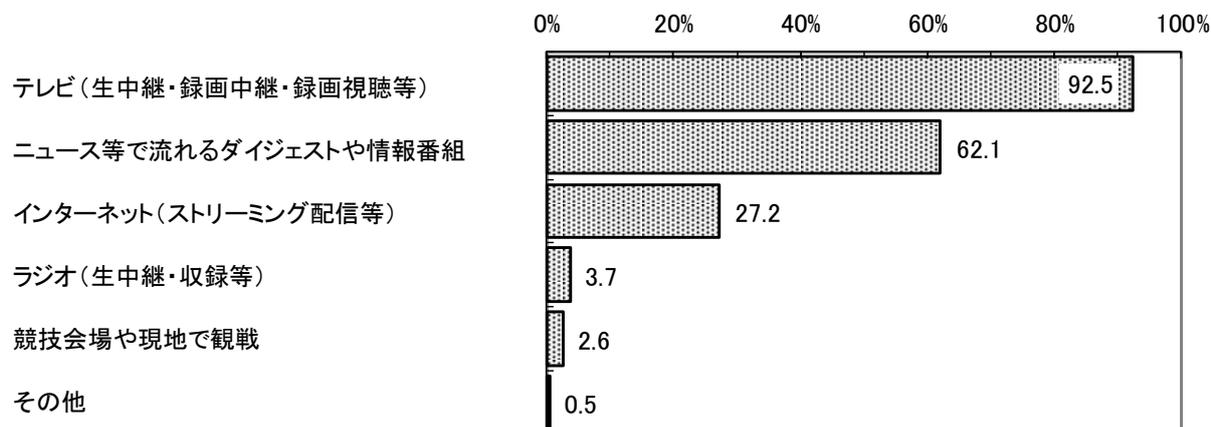


観戦・視聴の方法

Q7 Q6で「観戦・視聴した」を選んだ方に伺います。

あなたが、観戦・視聴した際の方法は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=427)



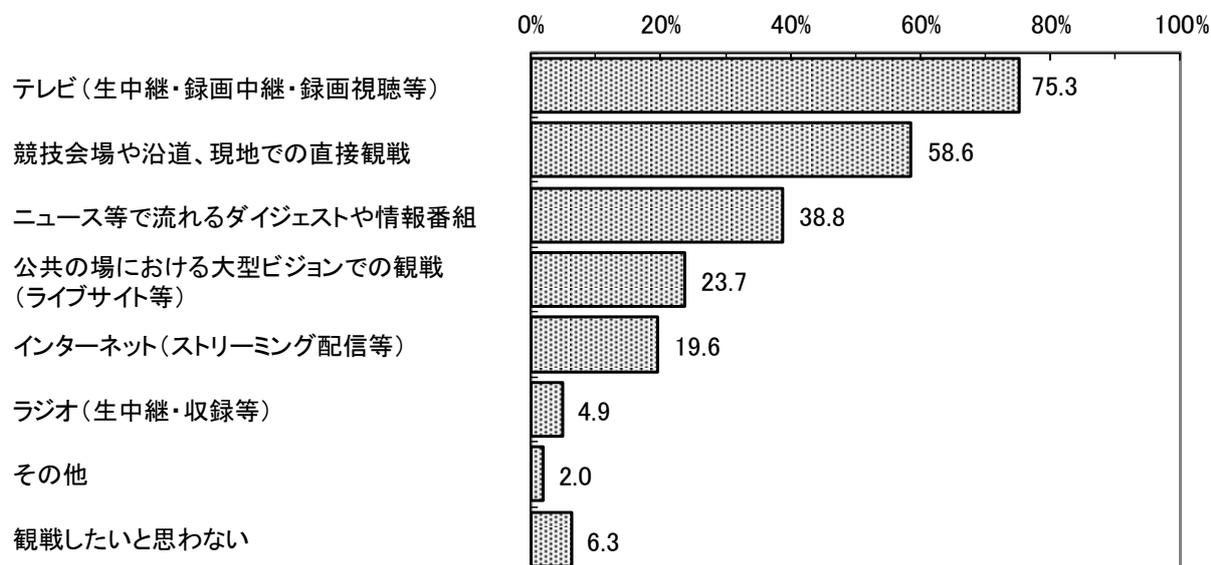
【調査結果の概要】

Q6で「観戦・視聴した」を選択した方に、観戦・視聴した方法について聞いたところ、「テレビ(生中継・録画中継・録画視聴等)」(92.5%)が9割を超えて最も高く、以下、「ニュース等で流れるダイジェストや情報番組」(62.1%)、「インターネット(ストリーミング配信等)」(27.2%)などと続いている。

有観客開催であった場合の観戦・視聴の方法

Q8 仮にコロナ禍の影響がなく、有観客での大会開催であった場合、どのように観戦・視聴したかったですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=490)



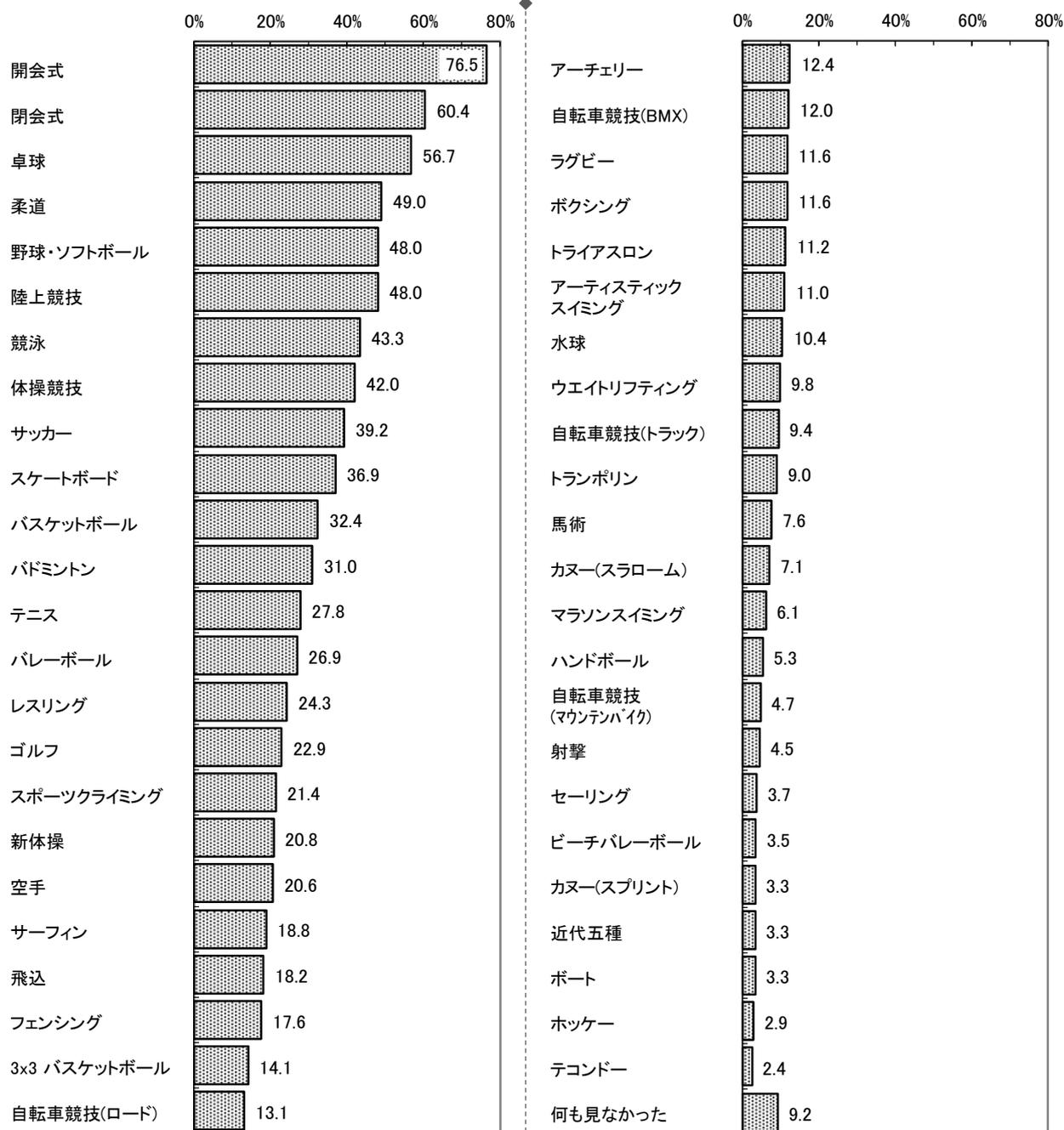
【調査結果の概要】

仮にコロナ禍の影響がなく、有観客での大会開催であった場合、どのように観戦・視聴したかったか聞いたところ、「テレビ(生中継・録画中継・録画視聴等)」(75.3%)が7割半ばで最も高く、以下、「競技会場や沿道、現地での直接観戦」(58.6%)、「ニュース等で流れるダイジェストや情報番組」(38.8%)などと続いている。

観戦・視聴したオリンピック競技

Q9 大会期間中には、オリンピックで33競技及び開会式・閉会式が実施されました。あなたが実際に見たものは何ですか。次の中からすべて選んでください。

MA (n=490)



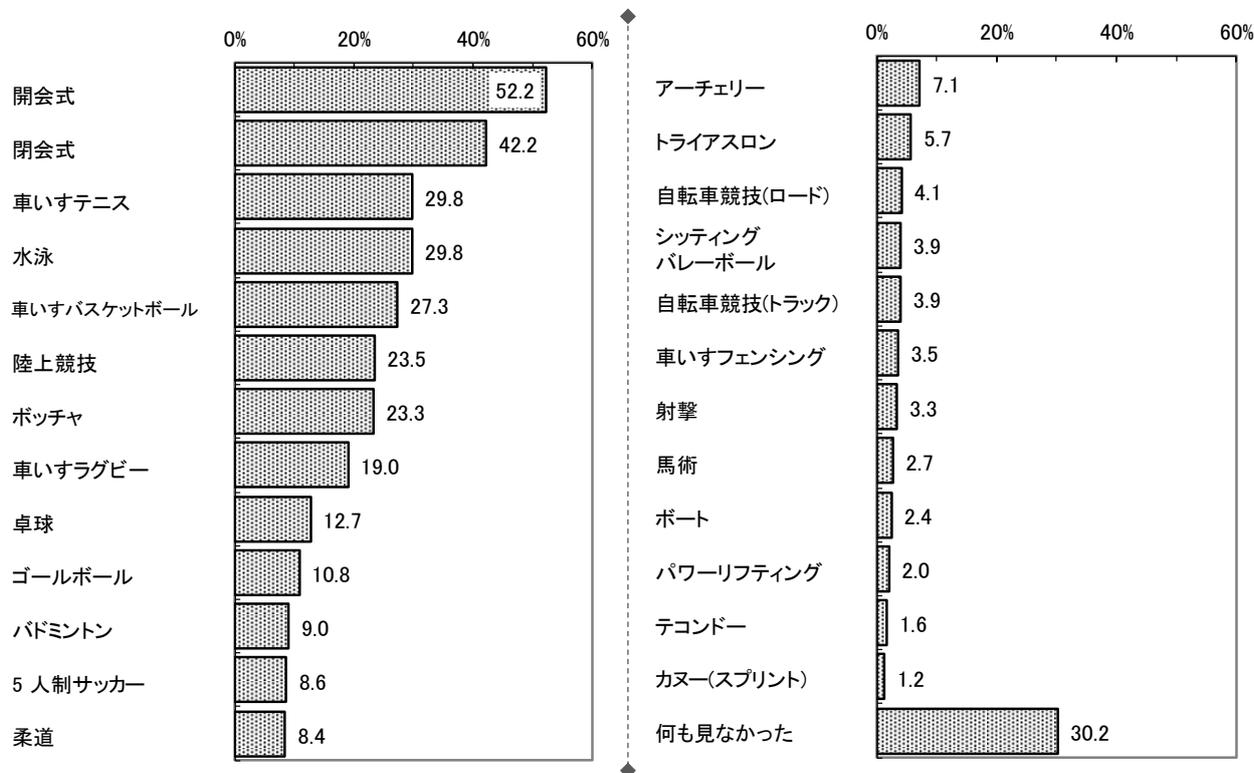
【調査結果の概要】

オリンピック33競技及び開会式・閉会式のうち、実際に見たものを聞いたところ、「開会式」(76.5%)が7割半ばで最も高く、以下、「閉会式」(60.4%)、「卓球」(56.7%)などと続いている。

観戦・視聴したパラリンピック競技

Q10 大会期間中には、パラリンピックで 22 競技及び開会式・閉会式が実施されました。あなたが実際に見たものは何ですか。次の中からすべて選んでください。

MA (n=490)



【調査結果の概要】

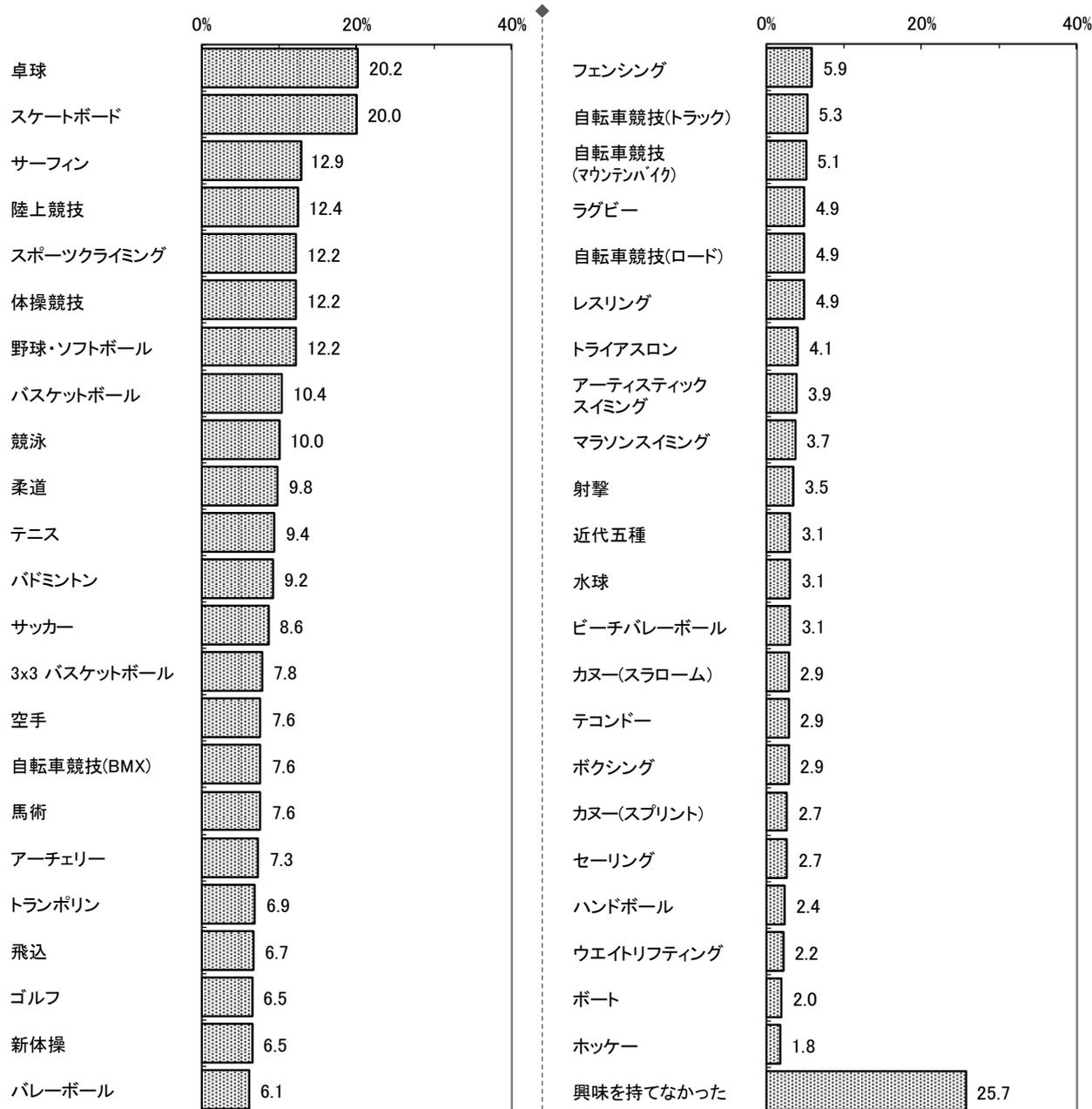
パラリンピック 22 競技及び開会式・閉会式のうち、実際に見たものを聞いたところ、「開会式」(52.2%) が 5 割を超えて最も高く、以下、「閉会式」(42.2%)、「車いすテニス」(29.8%) などと続いている。

なお、「何も見なかった」(30.2%) は、約 3 割であった。

新たに興味を持ったオリンピック競技

Q11 Q9に関連して、あなたが東京2020大会を機に、その競技についてもっと知りたい、また見てみたい、自分でもやってみてみたいなど新たに興味を持ったオリンピック競技は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=490)



【調査結果の概要】

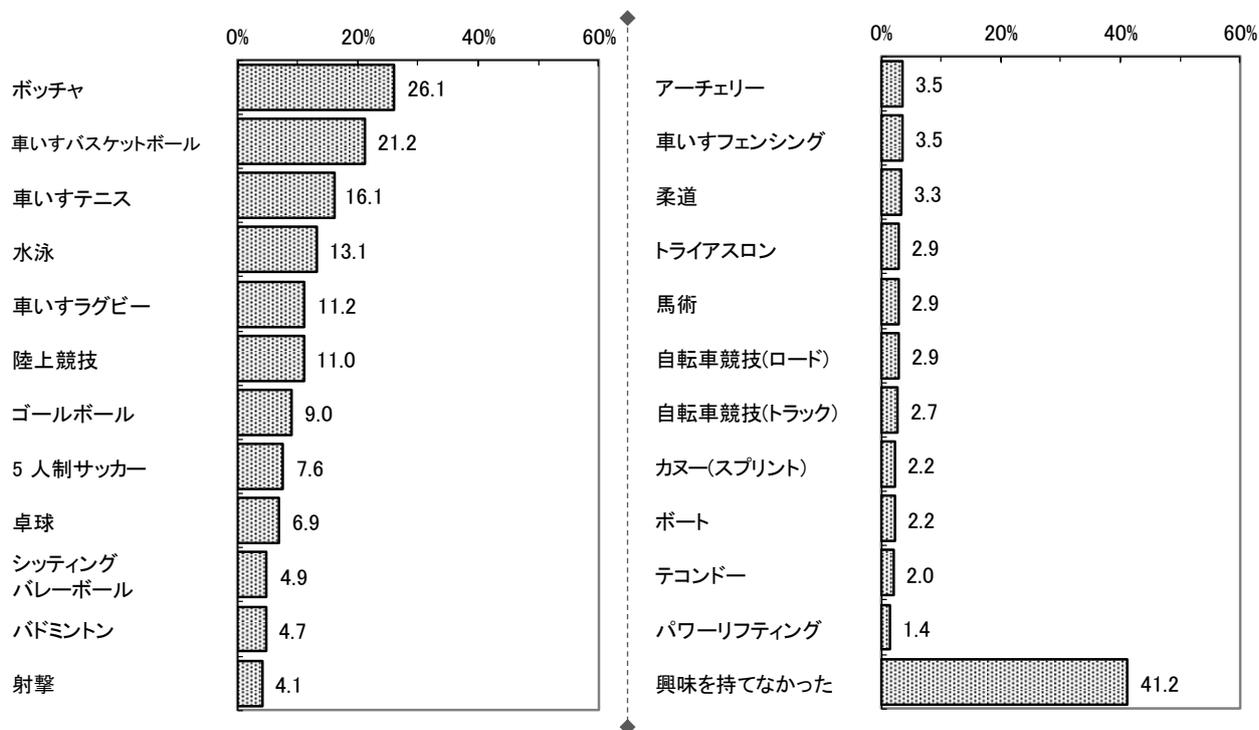
東京2020大会を機に、新たに興味を持ったオリンピック競技を聞いたところ、「卓球」(20.2%)と「スケートボード」(20.0%)が約2割で最上位となり、以下、「サーフィン」(12.9%)、「陸上競技」(12.4%)などと続いている。

なお、「興味を持たなかった」(25.7%)は、2割半ばであった。

新たに興味を持ったパラリンピック競技

Q12 Q10に関連して、あなたが東京2020大会を機に、その競技についてもっと知りたい、また見てみたい、自分でもやってみみたいなど新たに興味を持ったパラリンピック競技は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=490)



【調査結果の概要】

東京2020大会を機に、新たに興味を持ったパラリンピック競技を聞いたところ、「ボッチャ」(26.1%)が2割半ばで最も高く、以下、「車いすバスケットボール」(21.2%)、「車いすテニス」(16.1%)などと続いている。

なお、「興味を持てなかった」(41.2%)は、4割を超えていた。

新型コロナウイルス感染症対策について

【① 大会期間中の新型コロナウイルス感染症対策の概要】

組織委員会・都・国によるコロナ対策調整会議において、専門家も参画し幅広く議論を行い、その内容を大会関係者が守るべきルールとして取りまとめ、下記の通り実効性のある感染症対策を実施しました。

【水際対策】

- ▶ 選手や大会関係者に対して、出国の14日前から健康観察を行い、出国前に2回の検査、入国時にも検査を行うなど徹底した水際対策を実施

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
空港検疫検査 7/1～9/6	54,236 件	54 人	0.10%

【入国後検査・健康管理】

- ▶ 選手や大会関係者に対し、入国後3日間は毎日のスクリーニング検査を行い、選手は原則毎日、その他大会関係者は選手との接触レベルや役割に応じて定期的に検査
- ▶ パラリンピックでは、選手村に従事する大会関係者などの実施頻度を上げて検査

	検査数	陽性者数	検査数に占める陽性者数の割合
スクリーニング検査 7/1～9/6	1,017,190 件	312 人	0.03%

【行動管理】

- ▶ 滞在中の用務先をあらかじめ承認された行き先に限定し、公共交通機関を使用しないなど、一般都民との接触を回避する厳格な行動管理を実施
- ▶ 各所属組織にコロナ対策責任者を配置し、各人の行動管理を実施
- ▶ 違反行為については、組織委員会で厳正に対処

【陽性者発生時の対応】

- ▶ 選手等に感染者が発生した場合の対応の仕組みとして、組織委員会感染症対策センター、東京2020大会保健衛生支援東京拠点※を構築し、連携して対応
- ▶ 都内での選手、大会関係者の入院については、大会指定病院とあらかじめ受入れ調整を実施
- ▶ 軽症、無症状の場合は、原則組織委員会が確保した宿泊療養施設を活用するなど、都の医療・療養体制への負担を抑制

※選手村に滞在している選手等を対象に発生届受理、宿泊療養・搬送調整、積極的疫学調査等を実施

【② 大会期間中の新型コロナウイルス感染症対策の状況】

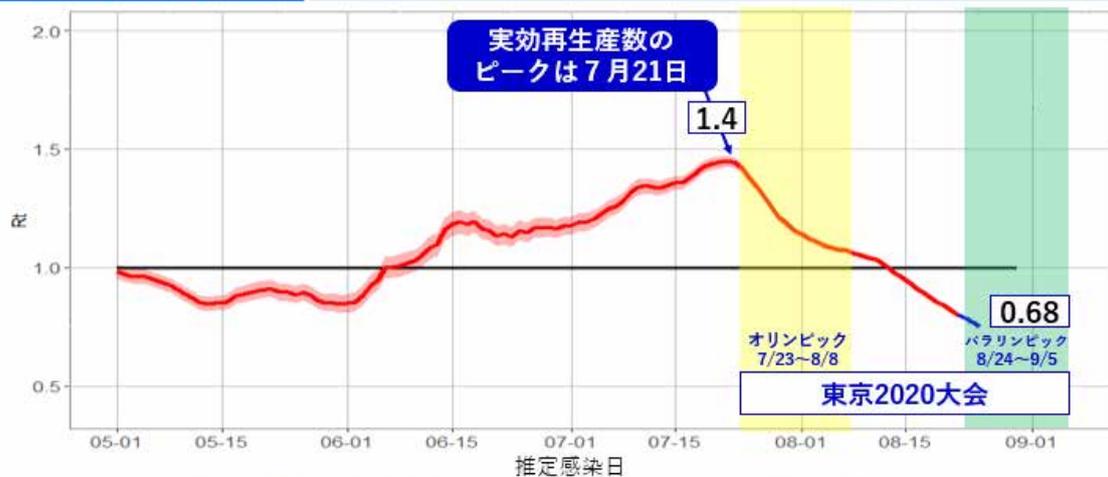
安全・安心な大会開催

		大会前	実績
選手 大会関係者 の陽性状況	空港検疫検査 (7/1~9/6)	大会前の 陽性率想定： 0.2%	陽性率： 0.10% 54人(陽性者数)/54,236件以上(検査数)
	スクリーニング 検査 (7/1~9/6)	繁華街等の スクリーニング 陽性率： 0.1%	陽性率： 0.03% 312人(陽性者数)/1,017,190件(検査数) (うち訪日大会関係者164人)
選手 大会関係者 の療養状況	都内医療機関 (入院)	大会前の想定 (ピーク時)： 8.5人	入院者数(ピーク時)： 2人 (訪日大会関係者) ※ 都内医療機関は大会指定病院へ入院
	都内宿泊療養施設	大会前の想定 (ピーク時)： 44.6人	入所者数(ピーク時)： 49人 (訪日大会関係者) ※ 大会用に組織委が300室を準備 余剰の部屋は都民用として活用

海外からの選手・大会関係者の陽性率等は当初想定を下回る水準

安全・安心な大会開催

実効再生産数の推移 (厚生労働省アドバイザーボード (9月16日会議資料) より)



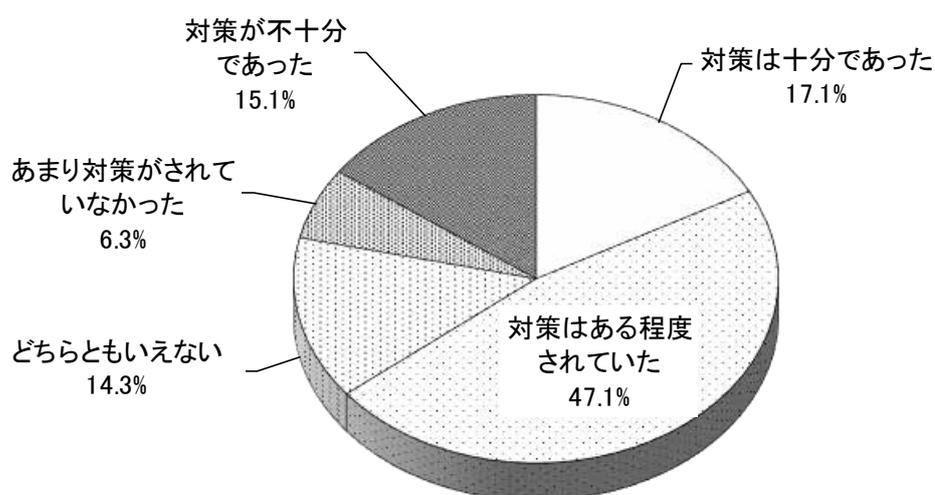
東京の実効再生産数は7月21日をピークに下落傾向へ

※実効再生産数：1人の感染者が全感染期間に新たに感染させる人数の平均値であり、1以上で増加傾向、1未満で減少傾向を表す。

Q13 東京 2020 大会の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策として、選手や大会関係者に対する水際対策の徹底・行動管理・検査の実施などの対策を講じ、また、都民の皆さまをはじめ、医療従事者など多くの方々のご尽力とご協力により安全に実施することができました。

あなたは、東京 2020 大会における新型コロナウイルス感染症対策について、どう思いますか。

(n=490)



【調査結果の概要】

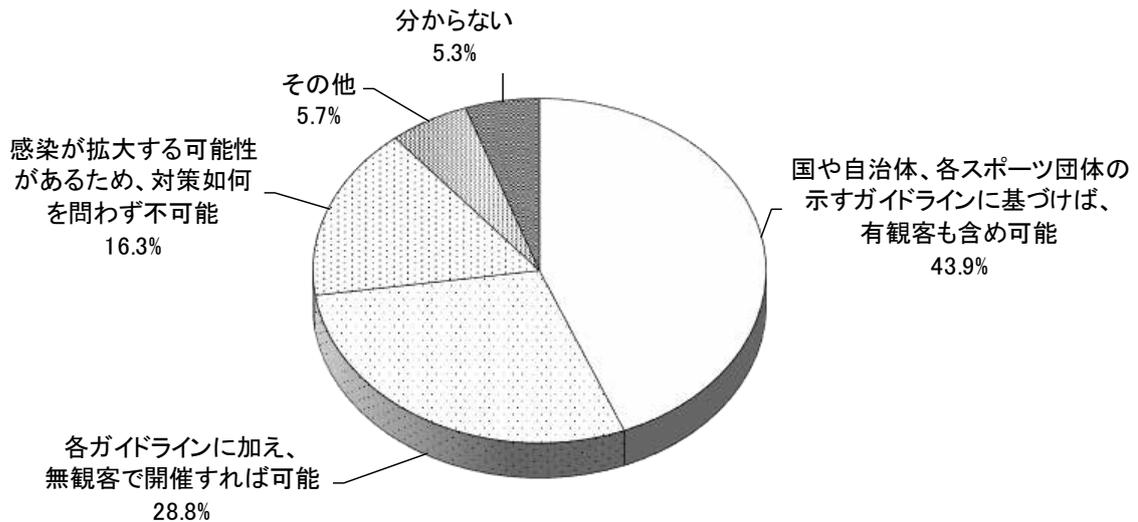
東京 2020 大会における新型コロナウイルス感染症対策についてどう思うか聞いたところ、『対策はされていた』(64.2%) (「対策は十分であった」(17.1%)、「対策はある程度されていた」(47.1%)) が6割半ばで、『対策はされていなかった』(21.4%) (「あまり対策がされていなかった」(6.3%)、「対策が不十分であった」(15.1%)) は2割超であった。

なお、「どちらともいえない」(14.3%) は、1割半ばであった。

今後のスポーツイベントや大会の実施について

Q14 コロナ禍の中、大小さまざまなスポーツイベントや大会が中止又は延期となっています。東京 2020 大会は、十分な新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施することができましたが、あなたは、どの程度対策を講じればコロナ禍においてもスポーツイベントや大会を安全に実施できると思いますか。次の中から、1つ選んでください。

(n = 490)



【調査結果の概要】

どの程度対策を講じればコロナ禍においてもスポーツイベントや大会を安全に実施できると思うか聞いたところ、「国や自治体、各スポーツ団体の示すガイドラインに基づけば、有観客も含め可能」(43.9%)が4割を超えて最も高く、以下、「各ガイドラインに加え、無観客で開催すれば可能」(28.8%)、「感染が拡大する可能性があるため、対策如何を問わず不可能」(16.3%)などと続いている。

大会期間中の行動変化

【① 大会期間中の交通対策・人流抑制の概要】

TDM（交通需要マネジメント）等の推進



【混雑予報】

都内の混雑予報や主要繁華街、競技会場周辺の混雑予報を実施。加えて、メールマガジンやSNSにて、交通規制の情報や感染拡大防止の取組へのご協力のお願いを毎日発信。

【② 大会期間中の交通対策・人流抑制の状況】

➤ TDM（交通需要マネジメント）、首都高速道路の料金施策、TSM（交通システムマネジメント）等を実施。都民や企業のご協力により交通量が低減。

➤ 高速道路の交通量(概ね外環内側) 【2018年比 速報値】

	オリンピック	パラリンピック
平日	12%減	15%減
休日	32%減	32%減

一般道路の交通量(概ね外環内側) 【2018年比 速報値】

	オリンピック	パラリンピック
平日	3%減	4%減
休日	7%減	7%減

➤ TDMの重点取組地区(16地区)の滞在人口【大会前の7月上旬比 速報値】

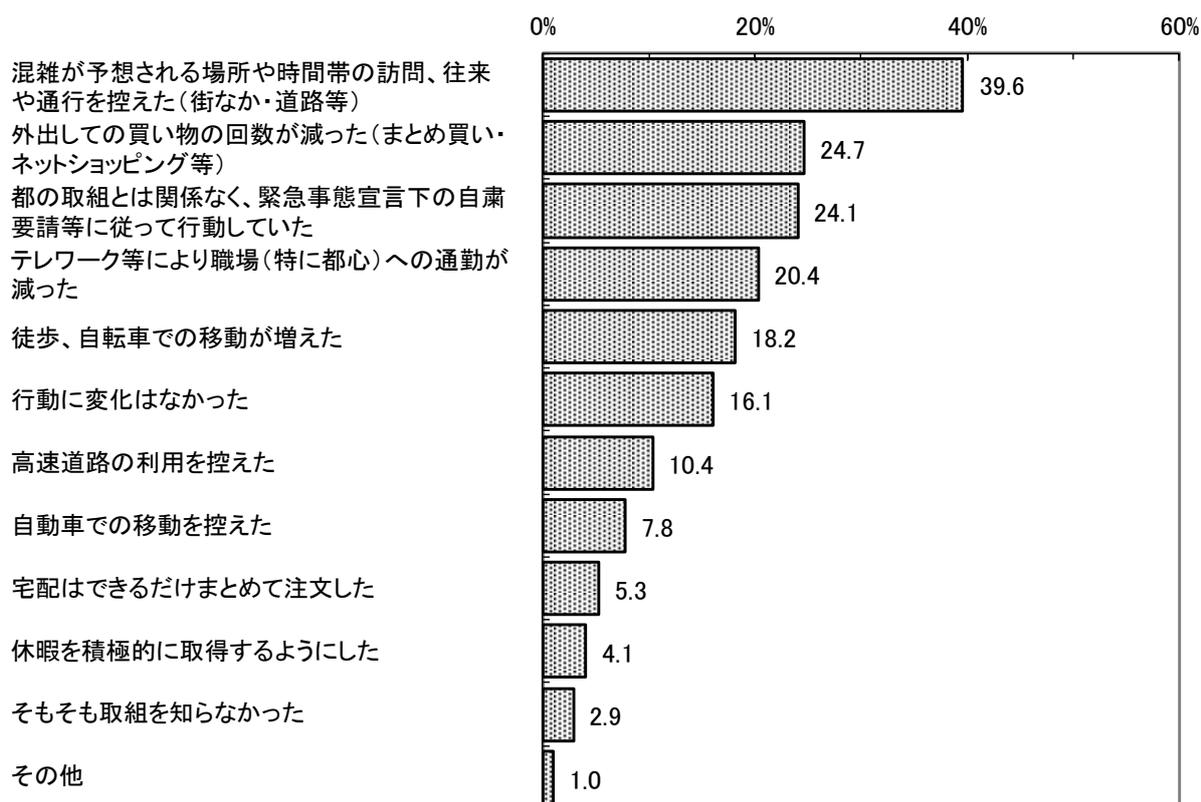
	オリンピック	パラリンピック
平日の通勤時間帯	3%減	4%減
平日の日中時間帯	8%減	11%減
休日の通勤時間帯	1%減	2%減
休日の日中時間帯	9%減	9%減

Q15 大会期間中、都は、交通混雑の緩和等のために、交通対策（TDM、首都高での料金施策、TSM）・混雑予報・時差Biz・テレワーク推進等の取組を「スムーズBiz」と称して総合的な人流抑制策を推進しました。

これらの取組により、大会期間中のあなた自身の行動について、実際にどのような変化や影響がありましたか。該当するものを、次の中からいくつでも選んでください。

※各交通対策の内容については、上記①②をご覧ください。

MA (n=490)



【調査結果の概要】

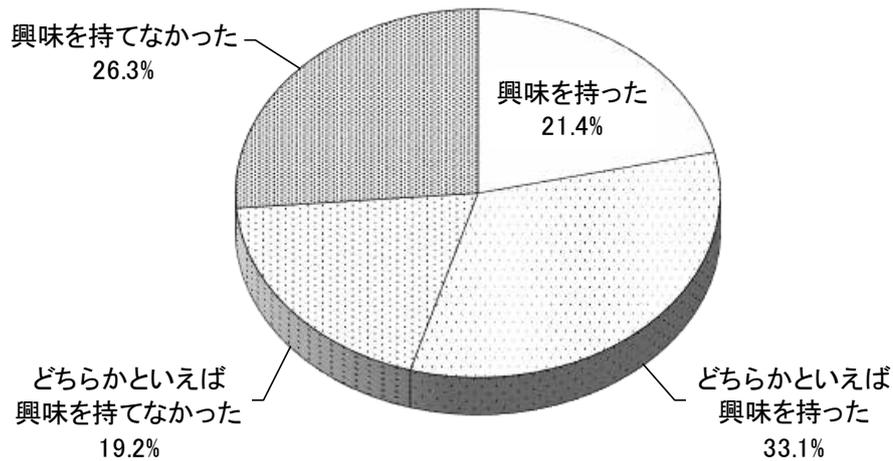
総合的な人流抑制策「スムーズBiz」によって、大会期間中の自身の行動にどのような変化や影響があったか聞いたところ、「混雑が予想される場所や時間帯の訪問、往来や通行を控えた（街なか・道路等）」（39.6%）が4割近くで最も高く、以下、「外出しての買い物の回数が減った（まとめ買い・ネットショッピング等）」（24.7%）、「都の取組とは関係なく、緊急事態宣言下の自粛要請等に従って行動していた」（24.1%）などと続いている。

ボランティアへの興味

Q16 東京 2020 大会では、シティキャスト（下記参照）などのボランティアが活躍しました。

今後、あなた自身もボランティアに参加してみたいなどの興味を持ちましたか。イベントボランティアに限らず、お答えください。

(n = 490)



【調査結果の概要】

東京 2020 大会を通じて、自身もボランティア参加に興味を持ったか聞いたところ、『興味を持った』(54.5%) (「興味を持った」(21.4%)、「どちらかといえば興味を持った」(33.1%)) が 5 割半ばで、『興味を持てなかった』(45.5%) (「どちらかといえば興味を持てなかった」(19.2%)、「興味を持てなかった」(26.3%)) は 4 割半ばであった。

【参考：シティキャスト（都市ボランティア）の活動】

- ▶ 大会で活動したシティキャスト(都市ボランティア)は、のべ約17,000名 ※速報値
- ▶ 無観客開催に伴い、シティキャストの意見も踏まえ、観客案内に代わり「大会の応援」、「大会情報の提供」、「東京・地域の魅力発信」、「安全・安心な大会のサポート」等の役割について様々な活動を実施

- ・羽田空港における選手のお迎え・お見送り
- ・東京スポーツスクエアにおける来場者案内
- ・聖火台周辺における来場者への声掛け
- ・学校連携観戦で会場へ向かう児童・生徒の案内
- ・パラマラソンの沿道付近における観戦自粛の呼びかけ など

- ▶ 現場での活動に加え、オンラインを活用した活動（大会の応援メッセージの発信等）を展開するとともに、東京スポーツスクエアでは、タブレット端末や遠隔操作のロボットを活用したリモートによる来場者案内も実施

<聖火台周辺>



<日比谷野外音楽堂>



<パラマラソン>



<パラ聖火リレー点火式>



<羽田空港>



<学校観戦>



被災地復興への取組

【被災地復興支援の取組の概要】

○東京 2020 大会に向けた東京都の取組

- ▶ スポーツ交流事業、アスリート派遣事業、スポーツ観戦招待事業、未来（あした）への道 1000 キロメートル縦断リレー、海外メディアを対象とした被災地取材ツアーなど、様々な取組を実施
- ▶ 令和 3 年 3 月には、復興仮設住宅の廃材アルミを活用したトーチにより、福島県 J ヴィレッジからオリンピック聖火リレーがスタート
- ▶ オリンピックでは宮城県でサッカー競技を、福島県で野球・ソフトボール競技を開催
- ▶ 大会期間中に、表彰式で選手に贈られるビクトリーブーケの花や、選手村の食堂で提供された食材には、被災地産を活用
- ▶ 有明アリーナには、復興のシンボルとなる樹木（岩手・宮城・福島・熊本各県の県木）を植樹するとともに、聖火リレーでは福島産ひまわりによる会場装飾、また、東京都メディアセンターなどを通じて被災地の情報発信を実施
- ▶ オリンピックスタジアム横の聖徳記念絵画館前に設置した、復興仮設住宅の廃材アルミを原材料として被災地の中高校生からのメッセージを載せた「東京 2020 復興のモニュメント」を、今後、被災地に移設する予定

被災地復興祈念植樹
(有明アリーナでの植樹の様子)



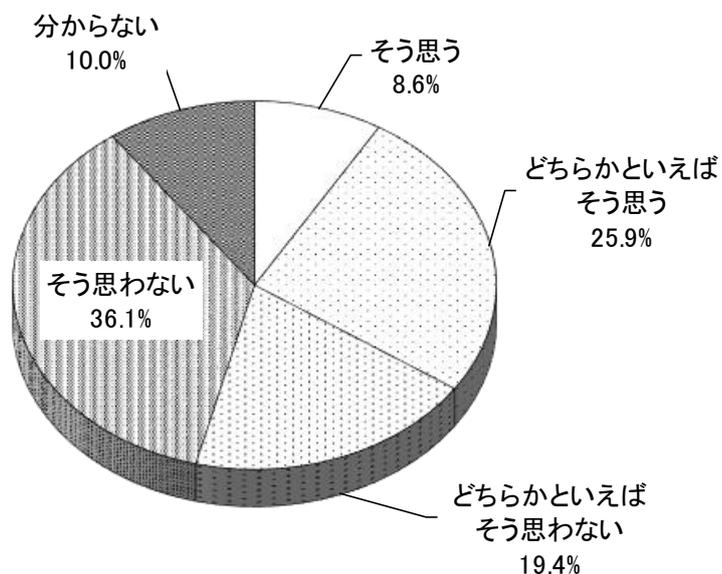
東京 2020 復興のモニュメント
(左から宮城県、福島県、岩手県のモニュメント)



Q17 都は、「復興オリンピック・パラリンピック」として、大会開催前から様々な被災地復興支援に関する取組を実施してきました。

あなたは、東京 2020 大会に関連して都が実施した様々な事業や取組が、被災地の復興支援につながったと思いますか。

(n=490)



【調査結果の概要】

東京 2020 大会に関連して都が実施した様々な事業や取組が被災地の復興支援につながったと思うか聞いたところ、『そう思う』(34.5%) (「そう思う」(8.6%)、「どちらかといえばそう思う」(25.9%)) が3割半ばで、『そう思わない』(55.5%) (「どちらかといえばそう思わない」(19.4%)、「そう思わない」(36.1%)) は5割半ばであった。

なお、「分らない」(10.0%) は、約1割であった。

聖火リレーの観覧・視聴の方法

【都内での東京 2020 オリンピック・パラリンピック聖火リレーの概要】

- ・ 区部・多摩地域では公道走行中止。島しょは大島町を除き公道走行を実施。
- ・ 公道走行に代わり、ランナーが会場内で聖火をつなぐ点火セレモニーを実施
- ・ 全ての聖火リレー・点火セレモニーをネット配信し、リモート観戦を推奨
- ・ 大会史上初めて聖火リレートーチに水素を活用

【オリンピック】

7月9日から23日の開会式までの15日間で実施

- ・ 公道実施の自治体：島しょ地域の8町村
- ・ 点火セレモニーを実施した自治体：23区、26市、5町村
- ・ ランナー数：1,265人(点火セレモニー1,227人、公道38人)



オリ聖火到着式 (7/23 都民広場)

【パラリンピック】

8月20日から24日の開会式までの5日間で実施

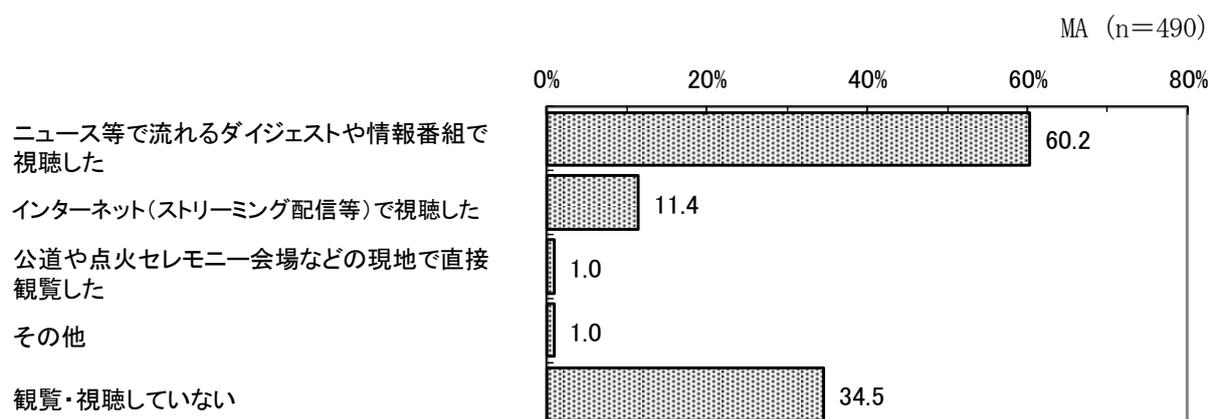
- ・ 公道実施の自治体：なし
- ・ 点火セレモニーを実施した自治体：14区、9市
- ・ ランナー数：585人



パラ聖火到着式 (8/2 織田フィールド)

Q18 東京 2020 聖火リレーは、都内での公道走行は中止（一部地域除く）となりましたが、点火セレモニー等を通じて、その灯を絶やすことなく、ランナーの皆さまそれぞれの思いとともにつながれました。

あなたは、都内で実施された東京 2020 聖火リレーを観覧・視聴しましたか。次の中から、いくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

東京 2020 聖火リレーの観戦・視聴について聞いたところ、「ニュース等で流れるダイジェストや情報番組で視聴した」(60.2%)が約6割で最も高く、以下、「インターネット(ストリーミング配信等)で視聴した」(11.4%)、などと続いている。

なお、「観覧・視聴していない」(34.5%)は、3割半ばであった。

オリンピック・パラリンピックが文化の祭典でもあることの認知度

オリンピックの根本原則について定めているオリンピック憲章では、「オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである」としています。これを受け、前のオリンピックが開催されてから次のオリンピックが開催されるまでの期間において、開催都市をはじめ各地で様々な文化イベント(=「文化プログラム」)が実施されています。東京2020大会の場合は、平成28年9月から令和3年9月まで、文化プログラムを展開しました。

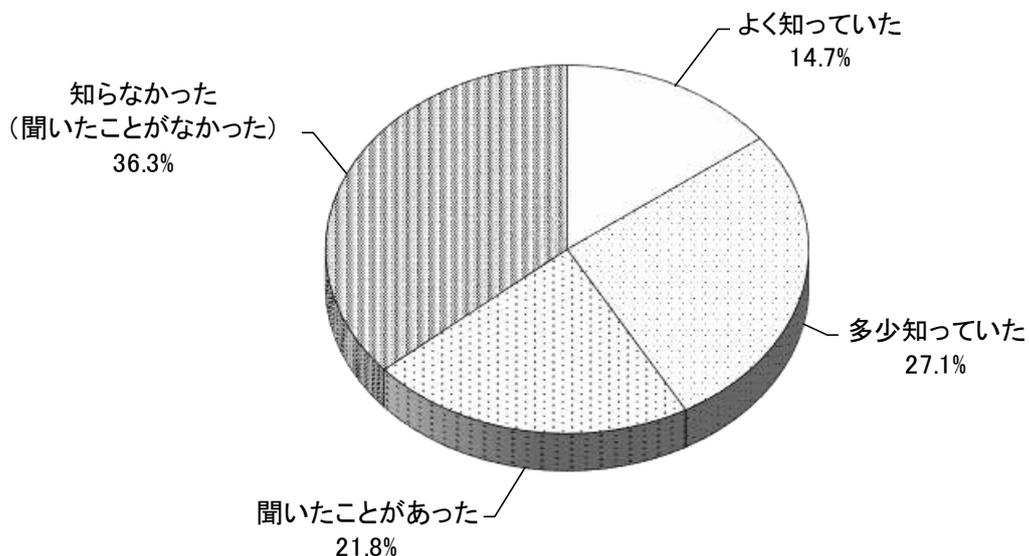
【実施事例】

- ・「まさゆめ」(巨大な「実在する誰かの顔」を東京の空に浮上させるプロジェクト)
- ・「六本木アートナイト」(六本木で開催するアートの饗宴)
- ・「東京大茶会」(初心者の方も楽しめる流派を超えた大茶会) など



Q19 あなたは、オリンピック・パラリンピック競技大会がスポーツだけでなく文化の祭典でもあることを知っていましたか。

(n=490)



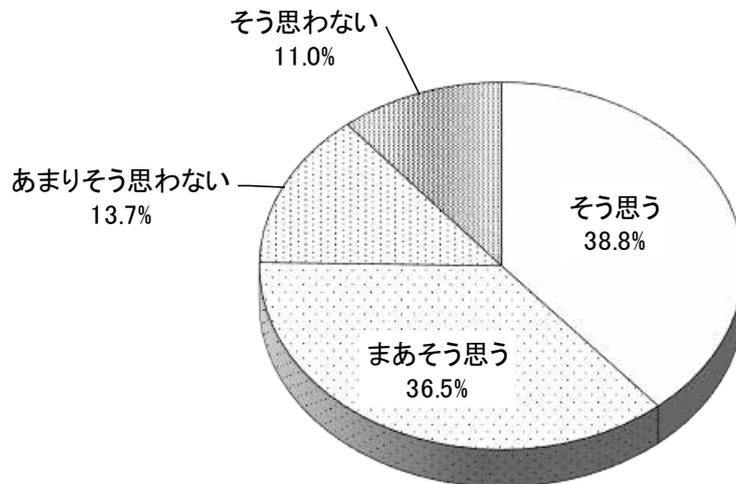
【調査結果の概要】

オリンピック・パラリンピック競技大会がスポーツだけでなく文化の祭典でもあることを知っていたか聞いたところ、『知っていた (聞いたことがあった)』(63.6%) (「よく知っていた」(14.7%)、「多少知っていた」(27.1%)、「聞いたことがあった」(21.8%))が6割半ばで、「知らなかった (聞いたことがなかった)」(36.3%)は3割半ばであった。

文化体験への参加意向

Q20 あなたは、音楽、演劇、ダンス、美術など何らかの文化体験（文化活動）に参加したい（鑑賞したい）と思いますか。

(n=490)



【調査結果の概要】

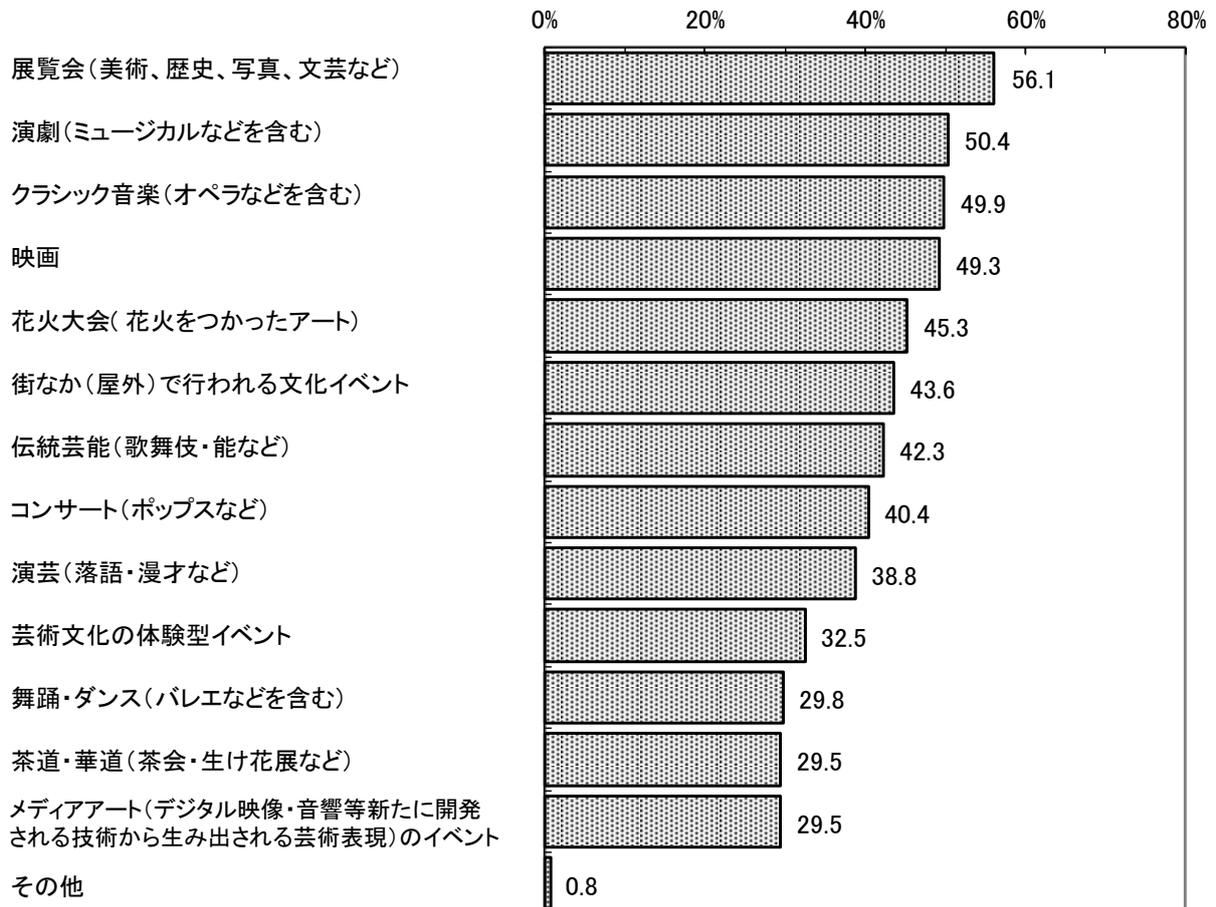
何らかの文化体験（文化活動）に参加したい（鑑賞したい）と思うか聞いたところ、『そう思う』(75.3%)（「そう思う」(38.8%)、「まあそう思う」(36.5%)）が7割半ばで、『そう思わない』(24.7%)（「あまりそう思わない」(13.7%)、「そう思わない」(11.0%)）は2割半ばであった。

文化体験で興味のある分野

Q21 Q20で「そう思う」、「まあそう思う」と答えた方に伺います。

あなたは、次のうち、どの分野の文化体験に興味がありますか。この中からいくつかでもお選びください。

MA (n=369)



【調査結果の概要】

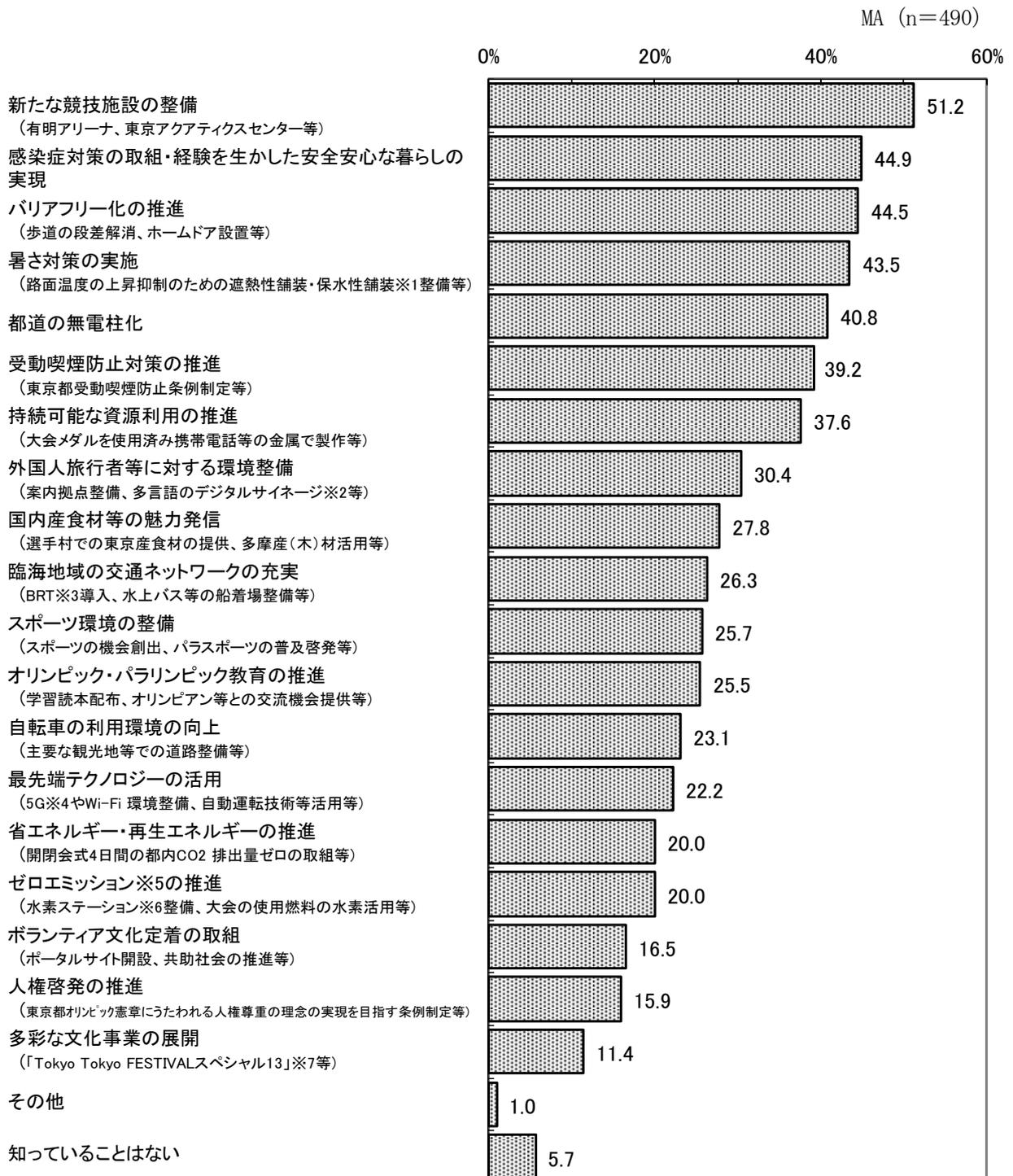
Q20で「そう思う」、「まあそう思う」を選択した方に、どの分野の文化体験に興味があるか聞いたところ、「展覧会(美術、歴史、写真、文芸など)」(56.1%)が5割半ばで最も高く、以下、「演劇(ミュージカルなどを含む)」(50.4%)、「クラシック音楽(オペラなどを含む)」(49.9%)などと続いている。

東京 2020 大会後のレガシーを見据えた東京都の取組

Q22 都は、東京 2020 大会に向けて、バリアフリー化など誰もがやさしさを感じられるまちづくりや、メダルプロジェクトなど持続可能性に配慮した取組、スムーズビズ、多言語対応など、ハード・ソフト両面に渡る多面的な施策を推進してきました。

これまでの取組について、あなたが知っていることは何ですか。次の中からいくつかでも選んでください。

※レガシー：オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵



- ※1 遮熱性舗装：太陽光の一部を反射させて、路面温度の上昇を抑える舗装
保水性舗装：降雨によってしみこんだ水が蒸発する時の気化熱を利用して、路面温度の上昇を抑える舗装
- ※2 デジタルサイネージ：映像による電子看板・掲示板。駅や店舗等に設置してあるモニターや大型ビジョンから情報を発信。
- ※3 BRT：バス高速輸送システム。連節バスの採用や走行空間の整備等により、高い輸送力と定時性・速達性を確保。
- ※4 5G：次世代の移動通信システム。これまでの通信ネットワークよりも「高速・大容量」「低遅延」「多数同時接続」を実現。
- ※5 ゼロエミッション：あらゆる廃棄物を原材料などとして有効活用することにより、廃棄物を一切出さない資源循環型の社会システム
- ※6 水素ステーション：燃料電池自動車の燃料となる水素を補給する場所
- ※7 Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13：Q19の文化プログラムの中核事業。東京2020大会を文化の面から盛り上げるため、国内外から斬新で独創的な企画を募集し選定した13の企画。

【調査結果の概要】

都が、東京2020大会後のレガシーを見据えて推進してきた多面的な施策について知っている取組を聞いたところ、「新たな競技施設の整備（有明アリーナ、東京アクアティクスセンター等）」（51.2%）が5割を超えて最も高く、以下、「感染症対策の取組・経験を生かした安全安心な暮らしの実現」（44.9%）、「バリアフリー化の推進（歩道の段差解消、ホームドア設置等）」（44.5%）などと続いている。

【参考：「大会後のレガシーを見据えた東京都の取組-2020 のその先へ-」】

東京都は、東京2020大会を契機に、成熟した都市として新たな進化を遂げるため、大会後のレガシーを見据えた取組を進めてきました。また、新型コロナウイルスの影響により大会が1年延期という中でも、貴重な「プラス1」の日々を生かし、安全・安心な大会に向けて取り組んできました。

これらに関して、大会に向けたハード・ソフト両面に渡る多面的な取組により創出されるレガシーをわかりやすく発信するため、令和3年7月21日に「大会後のレガシーを見据えた東京都の取組-2020 のその先へ-」を作成しました。

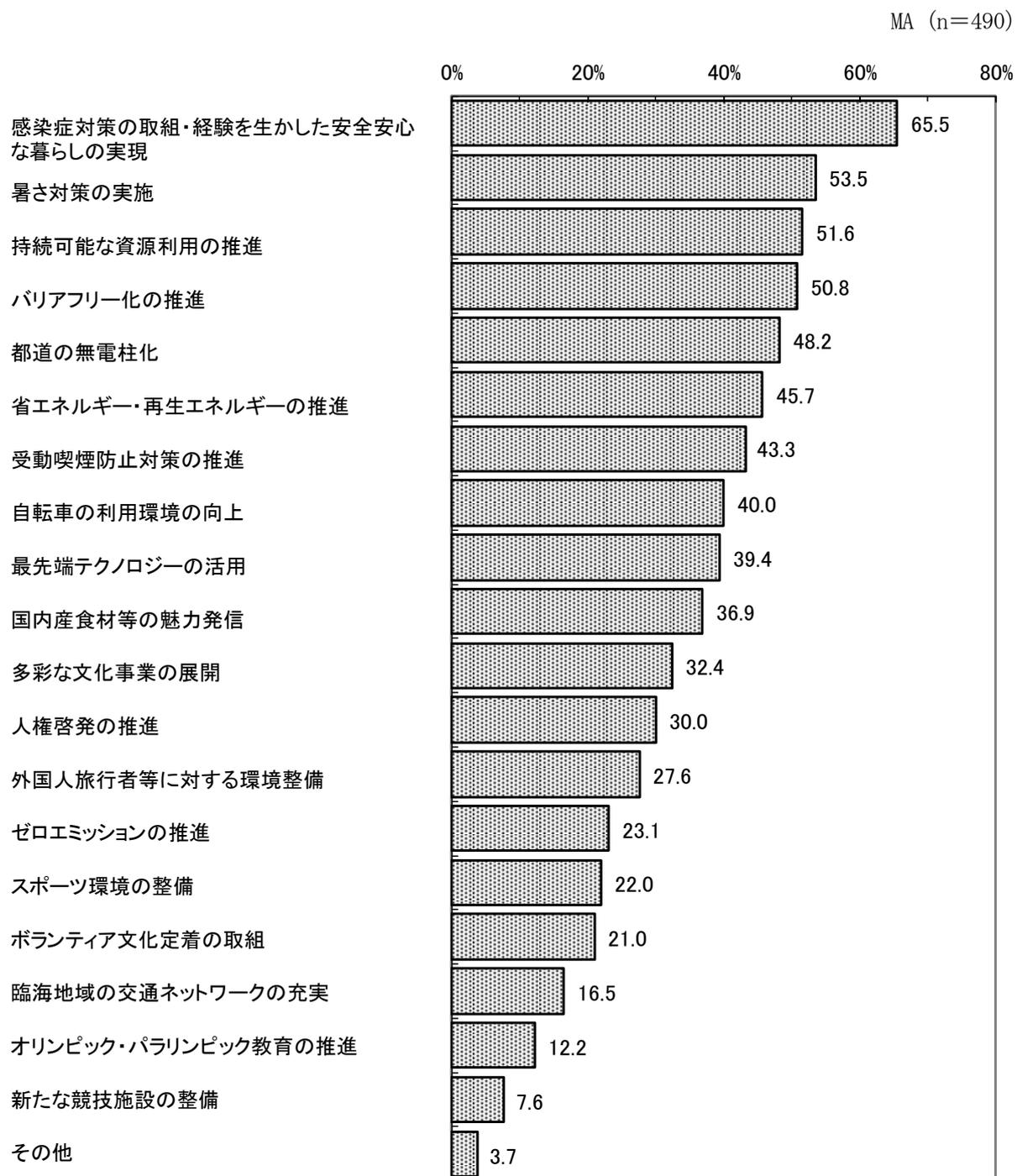


<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijyunbi/torikumi/legacy/index.html>

大会後に発展させてほしい取組

Q23 都は、東京 2020 大会に向けて行ってきた様々な取組や大会のレガシーを、「都市のレガシー」として発展させ、都民の皆さまの豊かな生活につなげていきたいと考えています。

あなたが、今後東京都に期待することは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

今後東京都に期待する、大会後に発展させてほしい取組について聞いたところ、「感染症対策の取組・経験を生かした安全安心な暮らしの実現」(65.5%)が6割半ばで最も高く、以下、「暑さ対策の実施」(53.5%)、「持続可能な資源利用の推進」(51.6%)などと続いている。

東京 2020 大会の開催全般について（自由意見）

Q24 東京 2020 大会の開催や、それに関する東京都の取組等について、あなたの意見をご自由にお書きください。

(n=474)

(1) 大会の開催に関すること	130 件
(2) 大会の運営、財政に関すること	116 件
(3) 大会の観客・観戦、情報発信、ボランティアに関すること	64 件
(4) 大会に関する感想	61 件
(5) 大会後の取組、検証に関すること	57 件
(6) 大会に係る新型コロナウイルス感染症に関すること	36 件
(7) その他	10 件

(主なご意見)

(1) 大会の開催に関すること 130 件

- コロナ禍という制約の中でオリンピック・パラリンピック大会を大規模クラスター等なく実施できたことがとてもよかったです。ただ、無観客の大会ということもあり、「東京でオリンピック・パラリンピックが開催されている」という雰囲気はあまり感じるできませんでした。(男性 10代 町田市)
- 賛否両論ありましたが、無事開催できてよかったですと思います。(女性 20代 文京区)
- 仕方のないことですが、久々に日本での開催となったオリンピックが感染症の流行している時期になってしまったことが残念です。感染症の流行さえなければ東京 2020 大会の開催で、より日本文化の発展につながったのではと惜しく思っています。(女性 20代 江戸川区)
- コロナ禍で、オリンピック・パラリンピックの開催は難しい判断だったと思います。緊急事態宣言も出され、感染者がとても多く、正直、自分がいつ感染するか不安な生活を送っていました。家でオリンピックを観戦し、ステイホームにはよかったですと思います。ボランティアの方や選手、関係者、感染対策をした都民など、いろいろな方の協力で開催できたと感じています。個人的には、もう 1 年、開催を延期して、国内に住む人だけでも有観客にできればよかったですと思います。感染状況が見通せない中で、難しかったのかもしれませんが、開催有無の判断を曖昧なまま 7 月の開催直前まで来てしまったので、もう少しスケジュールを明確にできればいいなと感じました。東京 2020 大会に限らず、パラリンピックに関して話題性が少ないので、パラリンピックに関する情報発信は今後も力を入れてほしいです。(男性 30代 世田谷区)

- 東京で開催されている実感が乏しかった。 (女性 40代 文京区)
- 特にパラリンピックがよかったです。パラリンピックの重要性を認識しました。 (男性 40代 墨田区)
- 無観客での開催は残念だったが、新しく加わったスポーツ種目での若者の活躍はとても良く、オリンピック&パラリンピック開催の価値を感じられた。 (女性 40代 世田谷区)
- オリンピックが開催されるまでは、コロナ禍で開催する必要があるのかと思っていましたが、選手たちの熱い闘いを見ていたら、無観客でも開催できてよかったと思いました。 (女性 50代 町田市)
- コロナ禍のさなかの五輪とあって、当初は中止した方がいいのではないかと考えたが、結果的には様々な犠牲を払ってでも開催した意味はあったと感じている。特に国際社会に対して日本社会の優れた秩序、安定性、管理運営能力を示すことができた。無観客は致し方ない対応だったとも思うが、必要な対策を講じた上で、一部競技については限定的な観戦を認めてもよかったのではないかと。大人はともかく、特に地元東京の小中学生ら子供たちが五輪を実際に体感する機会をほとんど得られなかったことは非常に残念であった。何とかそれを実現する方法がなかったのかどうか、都の取組を再検証することが必要であろう。 (男性 60代 新宿区)
- 中止すべきでした。感染対策や医療体制を優先していただきたいかかと強く思いました。 (女性 60代 板橋区)
- なぜあれほど感染が拡大している時期に開催したのか、今になっても分からない。また、猛暑の8月に開催したことも理解しがたい。時期をずらすなど柔軟に対応していただきたいかった。 (女性 60代 江戸川区)
- 大会関係者は最大限の努力をしたと思いますが、「平和の祭典」であるオリンピックを緊急事態宣言下でやることに最後まで疑問でした。近年は世界陸上を始め、水泳、体操等、ほとんどの競技で世界選手権があります。文化面でも各種交流があるので、昔ほどオリンピックを特別視しなくてもよいと思います。いざオリンピックが開催されると、報道等もオリンピック一色になり、体力の限界まで働いている医療従事者のことが頭から離れず、複雑な気持ちで、心から楽しめませんでした。やはり何の祭典でも、社会が平和で人々の気持ちが穏やかでないとか心から楽しむことは無理ではないでしょうか？ 何が何でもやるのではなく、ベストの状態で行うことが大事だと思います。 (女性 60代 町田市)
- パンデミック下での無観客開催という前代未聞の大会であったが、大きなトラブルもなくやり終えたことは一定の評価はできる。しかし、炎天下での競技はアスリートに過大な負荷をかけたことになり、開催時期については問題提起すべきと思う。自然災害だけでなく、感染症や温暖化対策など多くの課題が突きつけら

れた状態ではあったが、ベストは尽くせたのではないか。大会関係者の奮闘はよく理解できた。
(男性 70 歳以上 目黒区)

(2) 大会の運営、財政に関すること 116 件

- 都市ボランティアの募集など大会を盛り上げる動きはとてもよかった。また、事前準備で道路の舗装や交通状況の整備など都民として評価できることが多くあったと感じた。大会自体が無観客になってしまったことは残念だが、オリパラに向けて整備された施設や仕組みを今後も活用していくことが重要だと思う。
(男性 20 代 江東区)
- 無観客の判断は決断しにくかったと思うが、結果的によかったと思う。しかしながら、大会直前まで無観客と決まらなかったことで、チケットを購入していた立場からすると、予定が立てられなかった。また、東京 2020 大会のアルバイトをする予定だった人が身近にいたが、その人の生活もかかっているのもう少し早く判断してほしかったと思う。
(女性 20 代 三鷹市)
- 無観客での開催は残念だったが、コロナ禍でできる最大限の準備と運営を行ったと感じる。また、本来オリンピックはスポーツの祭典だが、ビッグイベントを通じて日本文化の世界への発信という役割も大きいと思う。コロナ終息後であれば、海外観光客を通じて、日本の魅力を世界に発信できたが、コロナ禍では限定的となってしまったが、難しい環境でもやり遂げたことは、世界に日本の管理能力の高さをアピールできたと思っている。
(男性 30 代 大田区)
- 感染症対策についてある程度評価できるが、不安材料も残った。インバウンド需要も期待できない中で、負担だけ増えたのではないかと思う。都民の税金をどのように扱う(扱った)か、明確に示してほしい。
(女性 40 代 品川区)
- 開催の有無も、観客の有無もどのように決まったのか、不透明です。どちらを選ぶにしろ、もっと国民の意見を聞いてほしかったです。結果的に感染がなかったから成功というのは、違う気がします。もちろん成功してよかったですし、開催したからこそ、パラリンピックへの認識が広まったのは間違いないと思います。パラリンピックだけで終わらず、今後も広く、パラリンピックの種目であった競技への関心や、バリアフリーなどが広がることを祈ります。
(女性 40 代 渋谷区)
- コロナ対策で大変な中、多くの努力で開催して下さったと思いますが、その分、どうしても「復興五輪」の発信としては弱くなってしまったと見受けられました。
(女性 40 代 府中市)
- 可能な限りの感染対策をした上での開催だと思うし、本当に良い、素晴らしい大会でした。残念なことは一つ。食料の大量廃棄と医療品の廃棄を耳にしたときは、信じがたく怒りを感じました。世界中の飢餓に苦しむ方々や、衛生、環境に

尽力している人々に対して、全く言い訳などできない恥じるべきこと。

(女性 50代 新宿区)

- 東京オリンピック・パラリンピックの招致活動から招致が決定し、準備、開催そして閉幕まで、この大会に関係した皆様に本当にお疲れ様でしたと言いたいと思います。途中、1年の延期となり、本当に大変だったと思います。東京での開催は、東京にいる私にとってとても貴重な体験になりました。本当は大勢の海外の方々や全国からのお客様をお迎えして賑やかな東京を見たかったですし、選手の皆さんを直接、現地で多くの方々が声援を送りたかったと思います。コロナ禍の中で、運営は大変だったと思いますが、反省点もあると思います。特に私が知った中では、フードロスのことには驚きました。今回の大会の反省点を今後に生かされていくことを願います。
(女性 50代 江東区)

- 私が注目したのは、携帯電話の一部をメダルにする取組でした。古い携帯電話を持って都庁の回収ボックスまで行ったせいか、テレビで観たメダルに愛着を感じました。また、スポーツに関心がなかったのですが、メダルがきっかけで東京2020大会に興味を持ち、感動をたくさんもらいました。普通にメダルを作るより手間や労力がたくさんかかったのではと思いますが、素敵な取組に感謝します。
ありがとうございました。
(女性 50代 板橋区)

- 賛否両論あると思うが、都として乗り切った努力はすばらしいと思う。ただ、コロナを考慮しなくても、次回を考えると東京都で開催する必要はあまりないと思う。あまりに負担が大き過ぎる。そのお金を他に振り分けるべきかと思う。オリンピックというものがあまりにも財政負担を強い過ぎる。今回で十分である。
(男性 50代 三鷹市)

- 実際に始まる前は大多数の人があまり期待をしていなかったが、競技が始まって選手の活躍を観るに従って、環境の不十分さを乗り越えるほどに人々の関心が増していった。これもスポーツの力によるものであると感じた。一方では財政的には大きな問題を抱えて、今後の東京都の財源に及ぼす影響が心配である。
(女性 70歳以上 北区)

- コロナの感染拡大防止対策を幅広く実施した東京都の取組については評価する。オリパラの選手や関係者の感染者が最小限にとどまったのは、その成果といえる。しかし一方で、オリパラという国際イベントの「祭典」感が、一般都民の感染防止行動に緩みをもたらしたのも事実ではないだろうか。新規感染者数が破滅的な爆発に至らなかったのは、医療ひっ迫、軽症感染者の自宅での死亡などを耳にした都民が、切羽詰まった恐怖心から外出や会合などの行動を自粛したからに過ぎない。新設した水泳、カヌー、スケートボード、ボルダリング等々の競技場や、新国立競技場でさえも、今後の維持に不安を覚えることはあっても、有形無形の何かレガシーとなるような気配は全く感じられない。Q23で選んだ「都市のレガシー」の内容は、オリパラとは関係なく、日常の都政の中で当然実現すべき重要な課題ばかりだ。オリパラのテレビや新聞の報道は、日本選手の活躍もあって、期間中はそれなりの注目度はあったが、終了後は、まるで何もなかった

かのように、競技も選手も（メダリストでさえも）すっかり忘れ去られている。コロナ禍の中の幻のように消え去ったイベントに、どうしても価値を見出せないままにいるというのが、現在の正直な気持ちだ。（男性 70歳以上 小金井市）

- 大量の食品廃棄がニュースになっていたかと思いますが、やはり、無駄の削減・費用の抑制は抜かりなく常に努力・実現してほしいです。

（女性 70歳以上 稲城市）

(3) 大会の観客・観戦、情報発信、ボランティアに関すること 64件

- 現地開催にもかかわらず現地観戦ができず残念でした。子供にオリンピック・パラリンピックの雰囲気を感じさせたかったのですが、テレビで少し見るぐらいで海外開催とほとんど変わらず。もったいなかったなあという感じです。

（女性 30代 文京区）

- チケットが当選し観戦を楽しみにしていたのに、無観客開催となり残念でした。しかしながら、全種目無観客なので不公平感もなく、当時の感染状況を踏まえれば適切な対応であったと納得しております。

（女性 30代 杉並区）

- 東京2020大会の開催に対する取組を東京都がよく実施していたことは理解しているが、なぜ開催にこだわるのか、不開催という選択肢がないのか理解できなかったため、東京2020大会についてもよくない感情を抱いた。もっと説明責任を果たせば、同じことを実施したとしても印象が異なるのではないかと思う。東京2020大会について見えない何かの中で開催ありきのような印象で、皆が行動を控える中での開催ということもあり、メッセージと行動が伴っていないと感じた。もっと説明してもらえればよかった。

（女性 30代 板橋区）

- 今回のアンケートにて、東京都が様々な取組を行っていたことが分かりました。多少は以前から知っていましたが、今回知った内容も多かったように思います。私が無知なだけだったかもしれませんが、そのような取組を大会開催後に知るよりも大会前にもっと詳しく知っていれば、また違った見方・楽しみ方などができたかもしれないと思うので少し残念です。そのため、皆に周知するような、より積極的かつ詳細な情報発信があれば、なおよかったのではないかと考えます。また、取組の背景には様々な思いがあると思いますので、そのような目に見えにくいところも都民などに向けて発信していただけると、都民自身もより深く取組と向き合い考える機会にもなるかと存じます。

（女性 30代 東久留米市）

- コロナの影響で仕方ないですが、都民として自分だけでなく、未来ある子供たちが参加したり活動したりできなかったことは残念でなりません。

（女性 40代 新宿区）

- ボランティアとして、研修やワクチン接種、当日の運営など、直接的に東京都の取組に接してきました。現場の皆さんは、よくやってくれていたと思います。税金を財源とした大きな投資をしたわけですが、そのリターン回収として期待していた経済効果が無くて、非常に残念に思います。仕方がないこととはいえ、次世代に大きな負債を残したことを重く受け止めています。

(男性 50代 立川市)

- せっかくの東京大会なので、本当は無観客ではなく人数を制限して有観客でやってほしかったが、中止とならず、無観客でもやっていただいたことは、とてもよかったです。

(女性 60代 世田谷区)

- 無観客試合に決まり少し残念でした。本来ならば、仕事で参加させていただく予定でした。併せてボランティアもする予定でしたが、活動の場は本当に無いに等しくなりました。準備をされてきた方々が費やした時間は計り知れません。仕方がないことと思いますが、感染対策をとった上で、実際に観られる機会が少しでもあればよかったですと思います。特に小中学生に機会を与えてほしかった。

(女性 60代 江戸川区)

(4) 大会に関する感想 61件

- 負の部分が大きく、得られたものがなかったのではないかな。

(男性 10代 江戸川区)

- オリンピック・パラリンピックの開催中止を主張する方もいましたが、終わってみれば、多くの方がテレビやインターネットで楽しんでいたように感じました。コロナ禍で沈んでしまっていた気持ちを盛り上げることができ、「スポーツ」や「文化」の大切さを改めて実感しました。

(男性 20代 武蔵野市)

- 感染者が多い中の開催は反対でしたが、無事に終わってよかった。選手の活躍に感動したことも少なくなかったです。

(女性 50代 府中市)

- 多摩地区在住です。コロナ禍でなく普通に行われていたとしても、多摩地区で行われる競技が少なくて残念に思っていました。結局ほとんどテレビ観戦となりましたが、家族で盛り上がることができ、思い出をつくることができたと思います。

(女性 50代 日野市)

- 今回のオリンピック・パラリンピックは開催に賛否両論がありましたが、選手たちの夢とコロナ禍で日常の楽しみを大幅に自粛してきたほとんどの国民にとって、感動と喜びを与えてくれたと思います。そしてコロナ対策を万全にして勇気をもって開催され、それが生かされ大成功となったことは、全世界各国からも高く評価されています。東京都はその中心となり、自慢できる存在だと感じました。

(女性 60代 江戸川区)

- オリンピックに対して、開催は望んでいなかった。でも、関係者の方々の工夫や、努力に対しては、感謝している。コロナ禍で、いかに感染を防ぐか、スムーズに運営するか大変だったと思う。お疲れ様と感謝している。
(女性 70歳以上 板橋区)

(5) 大会後の取組、検証に関すること 57件

- 新しく建てられた立派な競技施設の効果的な利用を進めていただきたい。BMXやスケボーなど若者を中心に新たな注目を浴びた競技について、公道や不特定多数の広場ではなく、本人たちものびのびと練習したり、新たに親しめるように、身近な公園等にいくつか専用施設を設置していただきたい。無電柱化をオリパラが終了しても、積極的に進めていただきたい。狭い道の商店街などを中心に整備していただきたい。自転車道の整備をオリパラが終了しても、積極的に進めていただきたい。原則、全ての都道の車道両脇には、ブルーの自転車専用通行帯を整備していただきたい。
(男性 40代 世田谷区)
- 今回のオリンピックは、目標または想定していた経済効果に遠く及ばなかったことは間違いないと思う。そのしわ寄せ、影響が来年以降に出てこないことを願います。公共サービスの低下などです。様々な減額、カットがないようお願いしたいです。
(女性 50代 北区)
- 新たに作った施設などはきちんと活用して、税負担がないようにしてほしい。
(女性 50代 足立区)
- 感染者数が増加する厳しい状況下で、批判もあった中、最後までくじけることなく開催のために尽力された皆様には、心から敬服しております。複数の友人がボランティアとして参加して、SNSでも大会を楽しむことができました。感染が発覚した選手の出場停止や、選手村でのバスの事故など、気になる点もありましたが、大きな事故に至ることなく、また、無観客とのことで、経済・人的文化交流・復興支援については有効ではなかったものの、閉会式では無事にパリへつなぐことができ、東京都の底力を見せていただきました。海外への東京と日本の魅力を発信できたかどうかは、コロナ禍後に本当の成果が分かります。引き続き、東京の魅力を発信し続けてほしいと願います。個人的には、無電柱化・自転車専用道路の整備・環境緑化・ゼロエミッション・再生エネルギーなど、環境関連に関心があり、東京五輪のために取り組まれたそれらを継続・発展させて、SDGs推進の先頭を走っていただきたいです。大会マスコットのミライトワとソメイティは、選ばれた当初は違和感があったものの、大会前と大会中には大活躍をしてくれて、今ではとても愛着を感じています。
(女性 50代 足立区)
- 大変厳しい環境下でオリンピックが開催できたことは一定の評価ができます。今回、オリンピック開催の目的や意義について考える良い機会になりました。あまりに規模が大きくなり、それに伴う経費については見直さなければなりません。マスコミでは開催期間中の無駄な経費使用なども報道されていましたが、収

支報告の公表が必要です。今回の投資に見合う成果が得られたかを判断する必要があると強く感じます。
(男性 60代 小金井市)

- 東京都がオリンピックを迎えるためにどれほどの計画と準備をしていたかをよく知らずにいました。本当に完全な形で迎えることができなかつたことを残念に思います。大会後のレガシーを生かして行ってほしいです。

(女性 70歳以上 調布市)

- シティキャスト・フィールドキャストのボランティアとして活動しました。ほとんどが無観客開催のため、活動のシフトは大幅に削減されましたが、スタッフの皆さんの努力で計8日間活動することができ、オリンピックに参加できて満足しています。いろいろな問題や課題が指摘されていますので十分に総括して今後の対応に生かしてほしい。何よりも施設の維持管理が大きな問題だと思うので、これからの世代に負担となる「負のレガシー」にならないことを願っています。

(男性 70歳以上 西東京市)

(6) 大会に係る新型コロナウイルス感染症に関すること 36件

- 感染対策ができた大会だったと関係者は述べているが、実際の医療現場はひっ迫している状況が新聞やニュースで報じられ、本当にオリンピックを開催してよかつたらどうかと思うことが度々あった。感染者が大きく増えなかつたということだけでなく、医療の現場の状況もよく見て判断するべきではないだろうか。また、開会式については世間からの注目も多く、感染対策を意識して行われているように思えたが、閉会式についてはこれまでのオリンピックとあまり変わらず驚いた。感染者数も増加し、世の中には感染対策の徹底をと呼びかけている中で、一部の人たちは賑やかなお祭りを行っていることに矛盾を感じた。

(女性 20代 武蔵野市)

- 新型コロナウイルスの感染が広まっている中、感染拡大防止対策を施し、見事無観客にて開催できたことはすばらしいと思うが、もっと早くに対策案を発表すべきだと感じた。

(男性 30代 新宿区)

- 自分自身がコロナにも感染していたら、オリンピック開催にマイナスなイメージを持ってしまっていたのではないかなと思う。自分自身や家族が元気にテレビで観戦できたからこそ、感動を味わうことができたのかなとも思う。

(女性 30代 町田市)

- 学校の活動やコンサートを縮小している中、オリンピックだけ開催するのはいかなものかと思っていました。開催前後、開催中で特に何か対策が強化徹底された実感もなく、ただ不安でした。小学校からの観戦は最終的に中止となり、安心しました(我が家の子供が観戦可能対象ではなかつたですが)。表面的には大きな感染拡大もなく(?)、よかつたのだと思います。ワクチン接種もできない子供がいる親としては、もっと感染対策が強化されていたのであれば、それを実

感できれば安心して過ごせたと思います。

(女性 40代 練馬区)

- 無観客での開催は、感染リスクには配慮できているが、実際に開催都市であった印象としては薄いものであったと感じました。経済効果については限定的で、負担が多い残念な結果です。こうしたリスクも踏まえて国際的なイベントの開催招致の賛成・反対を検討するべきだと思いました。一方で、東京都は、感染症という未知の事態にここまで対処できたことはもっと評価されるべきです。

(男性 40代 調布市)